

入 札 説 明 書

市が行う建設工事の工事希望型指名競争入札を下記のとおり行いますから、希望があれば米子市建設工事執行規則（平成17年米子市規則第106号）及び米子市会計規則（平成17年米子市規則第44号）を承知のうえ参加してください。

記

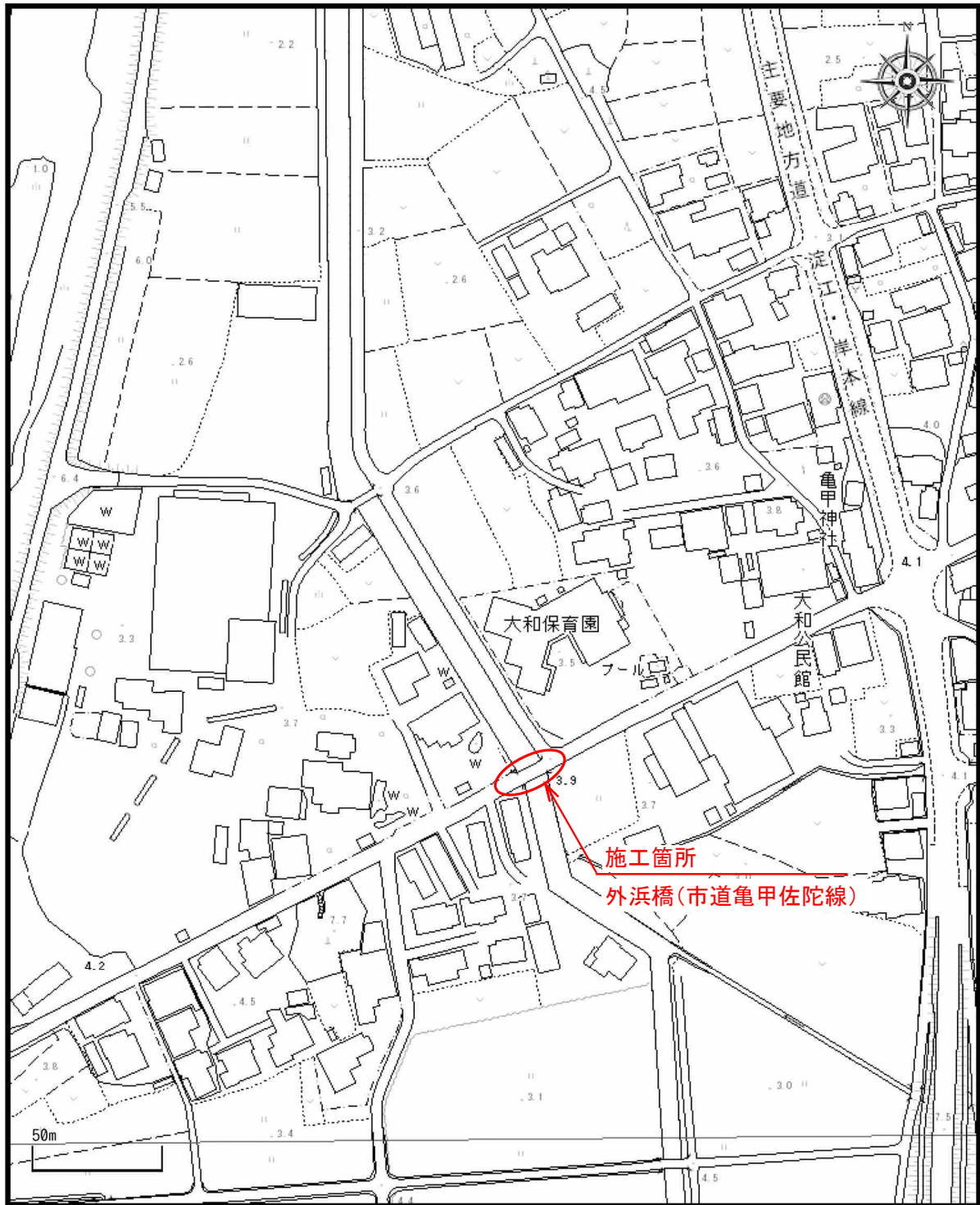
工事希望型指名競争入札に付する工事	工 事 名	市道亀甲佐陀線外浜橋ほか2橋りょう補修工事		
	工 事 場 所	米子市淀江町中間地内ほか	工期	契 約 日 から 令和7年3月21日まで
契 約 条 項 を 示 す 場 所		米子市総務部契約検査課		
担 当 課		道路整備課		
入札保証金に関する事項		入札保証金	免除	
現 場 説 明 会		なし		
開 札 の 日 時 及 び 場 所		日時 場所	令和6年12月17日 午前11時20分 開札 本庁舎202会議室	
契 約 保 証 に 関 す る 事 項	請負代金の額が130万円を超える工事については、契約の締結と同時に請負代金額の10分の1以上の額を保証する次の各号の一に掲げる保証を付さなければならない。 (1) 契約保証金の納付 (2) 契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供 (3) 銀行若しくは市長が確実と認める金融機関又は保証事業会社（公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証事業会社をいう。以下同じ。）の保証 (4) 公共工事履行保証証券による保証 (5) 履行保証保険契約の締結			
前 払 金 部 分 払	有	40%以内 ※ただし、請負代金の額が130万円を超える場合に限る		
	有	回数は、米子市建設工事執行規則による ※部分払いに替えて中間前払の選択も可		
入札に関する 注 意 事 項	1. 開札前天災地変等のやむを得ない事由が生じたとき、又は競争の意思がないと認められるときは、入札の執行を中止し、又は取り止めることがある。 2. 入札参加者が1者であっても、入札を執行するものとする。 3. 入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札及び米子市郵便入札実施要領第4条に定める入札は、無効とする。 4. 入札者は、到達した入札書は、書換え、引換え又は撤回することができない。 5. 入札者は、入札書到達後においても入札執行の完了までは入札の参加を辞退することができる。 6. 落札となるべき価格と同一価格の入札をしたものが2人以上あるときは、当該入札者にくじを引かせて、落札者を決定するものとする。この場合において、くじを引くべき入札者が、当該入札の立会者として参加している場合はその者が、参加していない場合は入札事務に関与しない職員に当該入札者に代わってくじを引かせるものとする。 7. 本件工事は、米子市建設工事最低制限価格設定要領に定める方法により、予定価格の2/3（ただし、8/10を下回る場合は、8/10とする。）以上で最低制限価格を設定しており、最低制限価格を下回る価格で入札があった場合は、当該入札者を失格とし、予定価格の範囲内の価格で入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とする。 8. 入札書に工事費内訳書が同封されていない場合は、無効とする 9. 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に10%に相当する額を加算した金額をもって落札価格（円未満切捨て（単価契約を除く。））とするので、入札者は、消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積った契約希望価格の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。 10. 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為を行ってはならない。 11. 入札回数は、1回とする。			
そ の 他 の 注 意 事 項	1. 米子市工事希望型指名競争入札実施要領に定める経営内容等が不健全な申込者及び工事成績が不良な申込者は、不指名とすることがある。また、同一入札における資本的、人的関係にある複数の申込者のうち1者のみを指名し、他の者を不指名とすることがある。 2. 申込時に届けのあった配置予定技術者の変更は、入札書差出期限まで変更可能とし、その後の変更は原則として認めないものとする。 3. 同一の主任技術者は、米子市が発注した工事（通常型指名競争入札及び随意契約によるものを除く。）に3件を超えて従事することはできないものとする。 4. 別に定める「建設工事に係る配置予定技術者の取扱いについて」における重複申込者に該当する者は、配置予定技術者重複届出書を所定の方法により提出すること。なお、入札結果により配置予定技術者がいなくなった場合は、失格とする。 5. 工事現場に配置する技術者等（主任技術者、監理技術者及び現場代理人をいう。）は、当該建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係（第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係が存在することをいう。）が申込日までに3ヶ月以上ある者に限るものとする。			
施工に関する 注 意 事 項	1. 工事設計図書 別紙のとおり 2. 本工事の施工にあたっては、鳥取県制定「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「公共建築工事標準仕様書」又はその他別に定める仕様書等に基づき実施しなければならない。 3. この契約に係る工事の施工にあたっては、ダンプカー協会加入車を優先的に使用するように努めること。 4. 工事着手前に自治会長及び地元関係者に連絡すること。			
米子市建設工事執行規則第14条により公にする予定価格 ￥18,675,800				
最低制限価格 (直接工事費＋共通仮設費＋現場管理費の9/10＋一般管理費5.5/10) ×1.1				

工 事 設 計 書

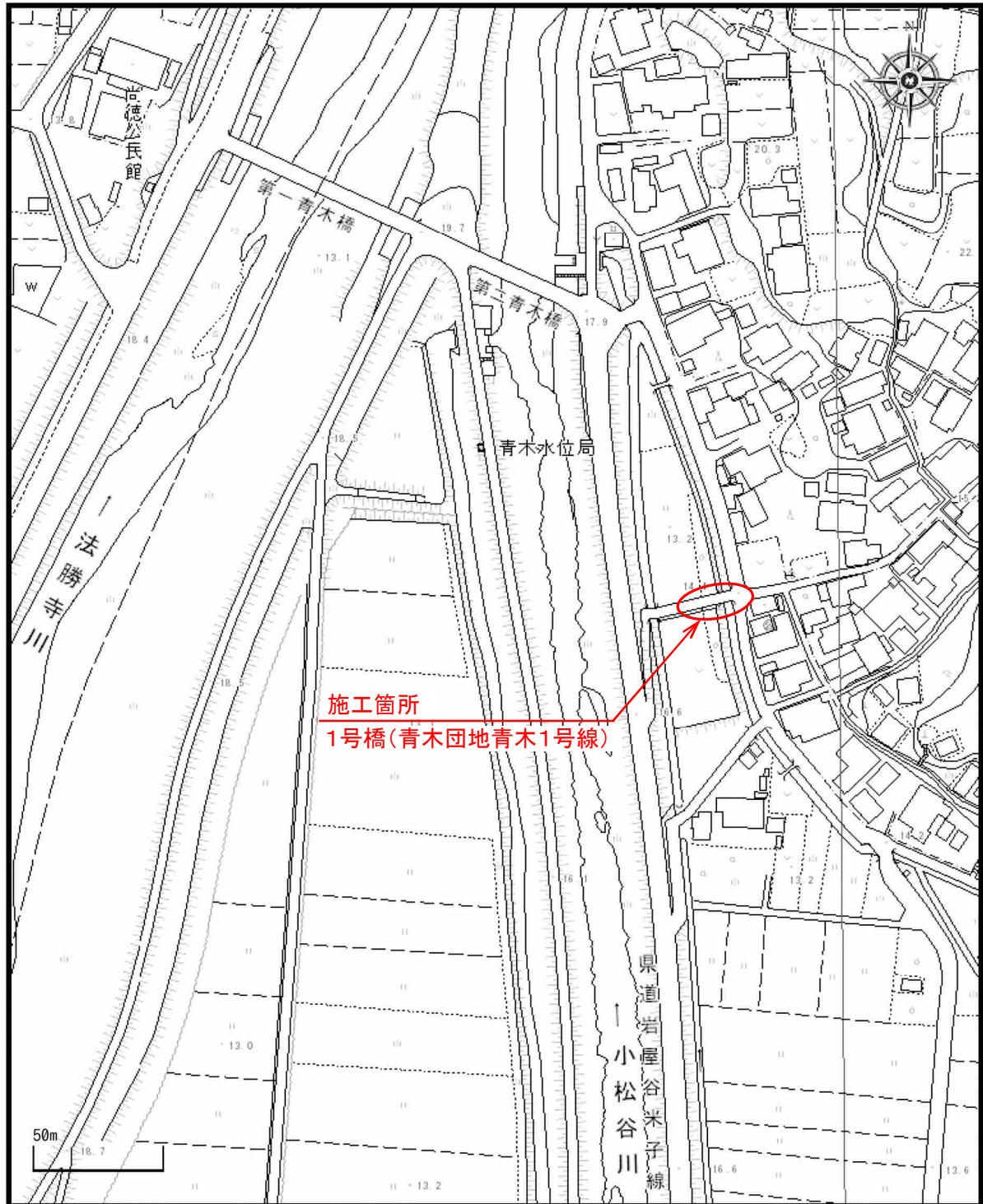
令和 6 年度	工事名	市道亀甲佐陀線外浜橋ほか2橋りょう補修工事				
		部長	課長	担当課長補佐	審査	設計
設 計 金 額	円					
工 期	契約日 から 令和7年3月21日 まで					
工 事 場 所	米子市 淀江町中間 地内ほか					
工 事 概 要	亀甲佐陀線外浜橋 橋長L=9.8m 幅員W=6.0m		青木団地青木1号線1号橋 橋長L=4.2m 幅員W=4.6m		二本木下郷線2号橋 橋長L=2.2m 幅員W=5.4m	
	橋梁附属物工	一式	橋梁補修工	一式	橋梁附属物工	一式
	橋梁補修工	一式	構造物撤去工	一式	橋梁補修工	一式
	構造物撤去工	一式			構造物撤去工	一式
	仮設工	一式			仮設工	一式

米 子 市

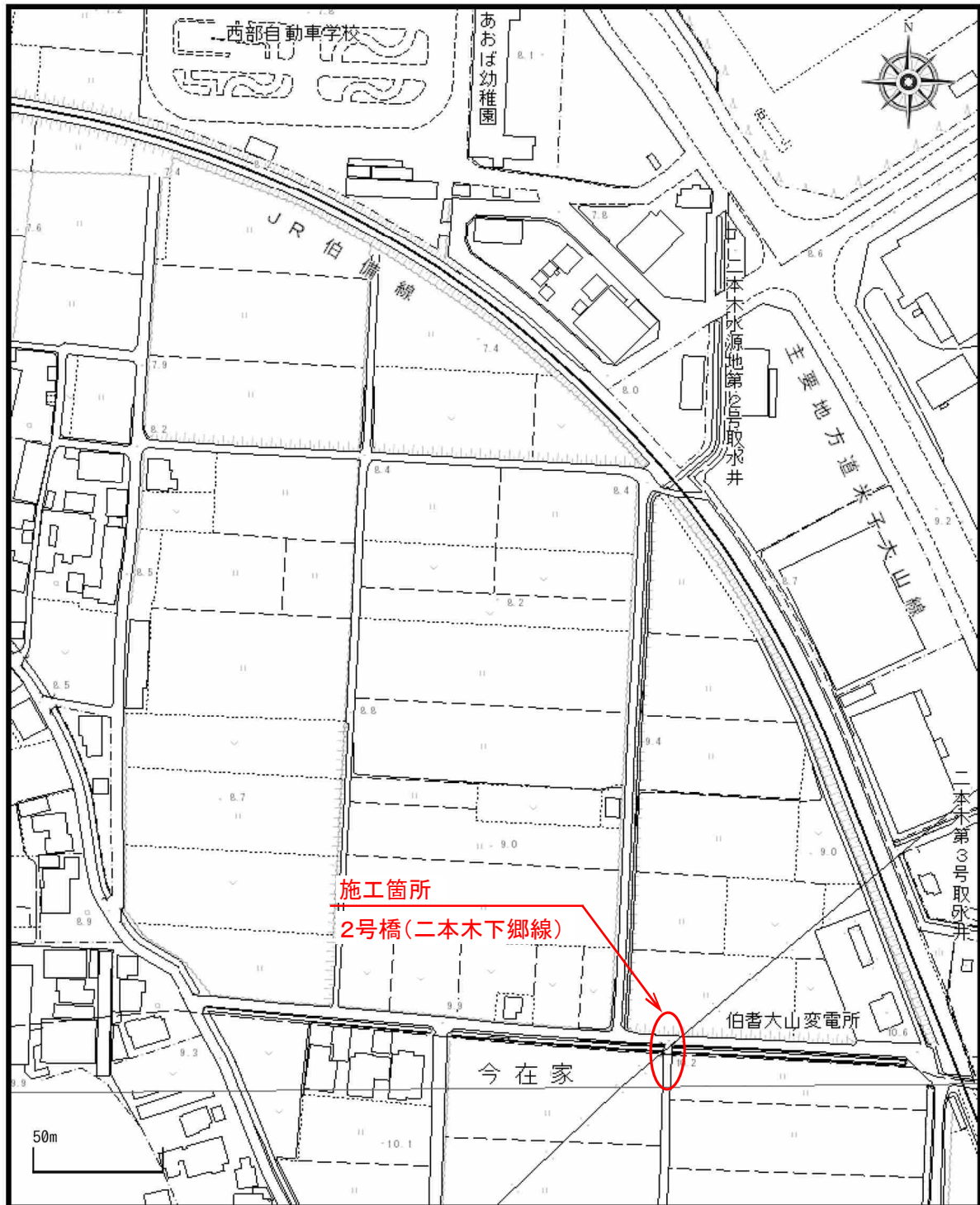
位置図



位置図



位置図



工 事 数 量 総 括 表

工 事 名	市道亀甲佐陀線外浜橋ほか2橋りょう補修工事					事業区分	橋りょう補修	
						工事区分	橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規 格	設計表示		数量 (前回)	数量 (今回)	数量 増減	摘要
			単位	数値				
本工事費								
橋梁保全工事【亀甲佐陀線外浜橋】			式					
橋梁補修工			式					
ひび割れ補修工			式					
	低圧注入工法	ひび割れ補修工 エポキシ樹脂系3種 補修延べ延長31.1m	構造物	1		1		
断面修復工			式					
	左官工法	断面修復、鉄筋ケレン・防錆処理を含まない 修復延べ体積0.006m ³	構造物	1		1		
橋面補修工			式					
	橋面防水	塗膜系防水	m ²	1		49		
	舗装打替え工	再生改質Ⅱ型(20) 表層t=70mm	m ²	1		49		
	ドレーン材	スプリング管 φ18	m	1		17		
		導水テープ 3×30mm	m	1		12		
	目地工	成型目地材 b=30mm、t=5mm	m	1		29		
区画線工			式					
	区画線設置(ペイント式)	実線 白線 W=15cm	m	1		21		
橋梁付属物工			式					
排水装置補修工			式					
	排水管	STKR □100×50×2.3	m	1		4		
	鉄筋コンクリート	σ _{ck} =24N/mm ²	m ³	0.1		0.3		
防護柵補修工			式					
	防護柵取換工	ガードレール取換工 C種 撤去	m	1		19		
		ガードレール取換工 C種 取付	m	1		19		
	アンカー工	接着式アンカー	本	1		56		
	穀運搬	現場発生品・支給品運搬 運搬距離9.9km	t	0.1		0.1		
	スクラップ	ヘビーH1	t	0.1		0.1		
地覆嵩上げ工			式					
	鉄筋コンクリート	σ _{ck} =24N/mm ²	m ³	1		1		
構造物撤去工			式					
構造物取壊し工			式					
	コンクリート削孔工	削孔径φ10mm以上～30mm未満	孔	1		208		
	構造物とりこわし工	鉄筋構造物	m ³	0.1		0.2		
	舗装版撤去	AS舗装版破砕 舗装版厚4cmを超え10cm以下	m ²	1		49		

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名	市道亀甲佐陀線外浜橋ほか2橋りょう補修工事					事業区分	橋りょう補修
						工事区分	橋梁保全工事
工事区分・工種・種別・細別	規 格	設計表示		数量 (前回)	数量 (今回)	数量 増減	摘要
		単位	数値				
	殻運搬	Co殻 運搬距離5.0k m	m3	0.1		0.2	
		As殻 運搬距離16.0k m	m3	1		3	
	殻処分	Co殻処分費	t	0.1		0.5	
		AS殻処分費	t	1		8	
仮設工			式	1		1	
橋梁保全工事【市道青木団地青木1号線1号橋】			式				
橋梁補修工			式				
断面修復工			式				
	左官工法	断面修復、鉄筋ケレン・防錆処理を含む 修復延べ体積0.111m ³	構造物	1		1	
		断面修復、鉄筋ケレン・防錆処理を含まない 修復延べ体積0.020m ³	構造物	1		1	
橋面補修工			式				
	橋面防水	塗膜系防水 アスファルト系	m ²	1		17	
	ドレーン材	スプリング管 φ18	m	1		4	
	目地工	成型目地材 b=30mm、t=5mm	m	1		8	
	床版用水抜きパイプ	スラブドレーン 標-1	基	1		1	
		スラブドレーン 標-2	基	1		1	
舗装工			式				
	基層(車道・路肩部)	粗粒度アスコン(20) 橋面部 舗装厚 t=4cm、瀝青材無し	m ²	1		15	
	表層(車道・路肩部)	密粒度改質Ⅱ型(13) 橋面部 舗装厚 平均t=40cm、PK-4	m ²	1		15	
	基層(車道・路肩部)	粗粒度アスコン(20) 接続道路部 舗装厚 t=4cm、PK-3	m ²	1		5	
	表層(車道・路肩部)	密粒度改質Ⅱ型(13) 接続道路部 舗装厚 平均t=4cm、PK-4	m ²	1		5	
構造物撤去工			式				
構造物取壊し工			式				
	コンクリート削孔工	削孔径φ50mm以上～64mm未満	孔	1		2	
	コンクリート削孔工	削孔径φ100mm以上～110mm未満	孔	1		2	
	構造物とりこわし工	鉄筋構造物	m ³	0.1		0.1	
	舗装版撤去	クラック防止シート ガラス基材 b=50cm	m	1		9.0	
		AS舗装版切断 舗装版厚15cm以下	m	1		9	
		AS舗装版破砕 舗装版厚4cmを超え10cm以下	m ²	1		19	
	殻運搬	Co殻 運搬距離17.0k m	m3	0.1		0.1	
		As殻 運搬距離14.9k m	m3	1		2	

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名	市道亀甲佐陀線外浜橋ほか2橋りょう補修工事					事業区分	橋りょう補修
						工事区分	橋梁保全工事
工事区分・工種・種別・細別	規 格	設計表示		数量 (前回)	数量 (今回)	数量 増減	摘要
		単位	数値				
	殻処分	Co殻処分費	t	0.1		0.3	
		AS殻処分費	t	1		4	
橋梁保全工事【市道二本木下郷線2号橋】			式				
橋梁付属物工			式				
目地処理工			式				
	目地処理工	高機能止水材 W=10mm	m	1		2	
橋梁補修工			式				
ひび割れ補修工			式				
	低圧注入工法	ひび割れ補修工 エポキシ樹脂系1種 補修延べ延長2.3m	構造物	1		1	
	低圧注入工法	ひび割れ補修工 エポキシ樹脂系3種 補修延べ延長2.3m	構造物	1		1	
断面修復工			式				
	左官工法	断面修復、鉄筋ケレン・防錆処理を含む 修復延べ体積0.152m ³	構造物	1		1	
舗装工			式				
	舗装打替え工	再生改質Ⅱ型(20) 表層t=80mm	m ²	1		1	
構造物撤去工			式				
構造物取壊し工			式				
	構造物とりこわし工	鉄筋構造物	m ³	0.1		0.2	
	舗装版撤去	AS舗装版切断 舗装版厚15cm以下	m	1		6	
		AS舗装版破砕 舗装版厚4cmを超え10cm以下	m ²	1		1	
	殻運搬	Co殻 運搬距離7.0km	m ³	0.1		0.2	
		As殻 運搬距離16.2km	m ³	0.1		0.1	
	殻処分	Co殻処分費	t	0.1		0.4	
		AS殻処分費	t	0.1		0.3	
仮設工			式	1		1	

1 仕様書

この契約において仕様書とは、特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」をいう。

2 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い本指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払い、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図下に変更があったときは、変更が生じた日から 20 日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

3 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
 - ① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
 - ② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

4 工事の安全確保について

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

5 建設機械の使用について

- (1) 標準操作方式建設機械を使用するよう努めること。
- (2) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
- (3) 排ガス対策型建設機械の使用については、排ガス対策型建設機械の使用基準について（平成 17 年 11 月 15 日付第 200500080172 号県土整備部長通知）によること。

6 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第 12 条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

7 ダンプトラック等による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにすること。
- (2) さし柵装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。
- (3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当たって、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- (7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。
- (8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

8 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）に違反する軽油等を使用しないこと。

9 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。
- (2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。
- (3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

10 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第26条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または、専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 請負業者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第40条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

11 労働基準法の遵守

この契約に係る工事の施工に当っては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週40時間を遵守すること。

12 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

13 現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者が有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に参加するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

16 コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比

コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては5.5パーセント以下、無筋コンクリートについては6.0パーセント以下とする。

17 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

18 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (3) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (4) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。
- (5) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(6) 舗装単独工事（アスファルト）においては、表層工、基層工及び上層路盤工を自社施工しなければならない。ただし、表層工、基層工及び上層路盤工であっても特殊工法部分についてはこの限りでない。

(7) 契約書第 25 条第 5 項の対応については、国土交通省「工事請負契約書第 26 条第 5 項（単品スライド条項）運用マニュアル（案）」に基づき請求を行うこと。なお当マニュアル中「工事請負契約書第 26 条」とあるのは「米子市建設工事請負契約書第 25 条」と読み替えるものとする。

契約書第 25 条第 6 項の対応については、国土交通省「賃金等の変動に対する工事請負契約書第 25 条第 6 項（インフレスライド条項）運用マニュアル（暫定版）」に基づき請求を行うこと。

現場説明書

令和6年6月1日改正
特記事項1

仕様書	本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。 ・ <u>鳥取県土木工事共通仕様書</u> ・ <u>鳥取県土木工事施工管理基準</u> ・ _____	
工程	① （他工事等との調整） ② （部分完成、着工保留） ③（施工時間） ④ （余裕期間設定工事） ⑤ （鋼材の調達の遅れによる工期の延長） ⑥（週休2日工事）	_____については、_____と関連するので相互の連絡を密にすること。 _____については、_____まで_____（すること ・ しないこと）。 _____本工事_____の施工時間は、<u>8:30</u> ～ <u>17:00</u> とする。 本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領（令和3年4月1日施行）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____か月を見込んでいるが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 本工事は、米子市週休2日工事実施要領（土木工事）（令和3年4月1日施行）の対象工事である。本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。
用地関係	① （用地・物件等未処理）	本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合わせのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） ② （支障物件） ③ （立木の置き場所）	工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、[未調査・調査済み]である。 _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込みである。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。
対公害	①（騒音振動対策）	「建設工事にともなう騒音振動対策技術指針」を順守すること。 本工事の施工に当っては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。
安全対策	①（交通安全施設等）	一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。 なお、交通整理の必要日数 <u>18</u> 日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Aを合計 _____ 名（交代要員[有・無]）、交通誘導員Bを合計 <u>18</u> 名（交代要員[有・無]）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置しているとみなす。
排水処理濁水	① （濁水処理）	工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。 なお、これにより難しい場合は別途協議すること。

現場説明書

特記事項2

建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】	
	①（他工事等流用）	建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____工事現場に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。
	②（建設技術センター）	建設発生土は_____市・町・村_____地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として、1 m ³ 当たり円をセンターに支払うこと。
	③（民間残土受入地）	建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として、1 m ³ 当たり_____円を_____に支払うこと。
	④（土質改良プラント）	建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として1 m ³ 当たり_____円を_____に支払うこと。
	【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】	
	⑤（分別解体等）	コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。 なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊 1 m ³ 当り_____円（本工事では断面修復工内で見込んでいる） コンクリート塊（鉄筋） 1 m ³ 当り_____円 アスファルト塊 1 m ³ 当り_____円 建設発生木材 1 m ³ 当り_____円
	⑥（他工事等流用）	[Co 雑割材・_____]は、_____市・町・村_____地内_____工事現場に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。
	⑦（再資源化施設への搬出）	コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。 再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。 なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。 コンクリート塊（無筋） _____市・町・村 _____地内の _____（株）大協組 （運搬距離：工事数量総括表記載）、費用 1 t 当り _____円 コンクリート塊（有筋） _____市・町・村 _____地内の _____（株）大協組 （運搬距離：工事数量総括表記載）、費用 1 t 当り _____円 アスファルト塊 _____市・町・村 _____地内の _____カネックス（株） （運搬距離：工事数量総括表記載）、費用 1 t 当り _____円 その他（ ） _____市・町・村 _____地内の _____ （運搬距離_____km）、費用 1 t 当り _____円 8時～17時（平日） ア 路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。 イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。 ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径_____cm以下、長さ_____m以下であること。 エ 2次公害発生の恐れがある物質（廃油等）を含まないこと。 建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。
	(施設の名称・受入れ費用)	
	(受入れ時間帯)	
	(受入れ条件)	
	⑧（木材市場等へ売却）	_____については、_____市・町・村 _____地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、その費用として1 t 当たり_____円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。
	⑨（最終処理等）	産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。 産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を_____円見込んでいる。
	⑩（産業廃棄物の処理に係る税）	

現場説明書

特記事項3

建設副産物の使用	① （建設発生土の使用） ② （再生資材の使用）	_____ 工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____ に使用する。 1) C 〇 雑割材は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。 2) アスファルト・コンクリート切削殻は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。 3) ・再生クラッシャーラン〔規格：_____ 〕は、使用箇所：_____ に使用する。 ・再生クラッシャーラン〔規格：_____ 〕は、使用箇所：_____ に使用する。 ・再生コンクリート砂〔規格：R S ー _____ 〕は、使用箇所：_____ に使用する。 4) 再生加熱アスファルト混合物〔規格：再生改質Ⅱ型 As _____ 〕は、使用箇所：_____ 舗装 _____ に使用する。 5) その他再生資材〔資材名：_____ 〕〔規格：_____ 〕は、使用箇所：_____ に使用する。
工事用道路	①（農地の一時転用について） ② （農地の賃貸借）	本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 ア _____ の用途に使用するため、_____ 市・町・村 _____ 番地を賃貸借すること。 イ 土地賃貸借契約書に「米子市との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は米子市が有することとし、原状復旧の責は米子市が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。
仮設備		

現場説明書

特記事項4

その他

①（労災補償に必要な保険の付保）	本工事において、請負者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険契約の保険料を予定価格に反映している。												
②（現場環境改善）	本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・しない〕。 下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。 実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。 地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。 1 内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。 <table><tr><th>計上費目</th><th>実施内容</th></tr><tr><td>仮設備関係</td><td>1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減</td></tr><tr><td>営繕関係</td><td>1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等</td></tr><tr><td>安全関係</td><td>1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策</td></tr><tr><td>地域連携</td><td>1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献</td></tr><tr><td>防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）</td><td>1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）</td></tr></table>	計上費目	実施内容	仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減	営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等	安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策	地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献	防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）
計上費目	実施内容												
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減												
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等												
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策												
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献												
防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）												
③（経費対象外・スクラップ費について）	ガードレールの撤去に伴うスクラップ費用については、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の対象額には含めない。なお、スクラップ費は 建設物価 2024.11 P794 鉄 ヘビー H1 を見込んでいる。												

※明示する項目を_____部分に記入又は追記し、不要部分は——で削除して使用すること。

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ その他()	
工事の種類		☐ 新築工事 ☒ 維持・修繕工事 ☐ 解体工事 ☐ 電気 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 下水道 ☐ 鉄道 ☐ 電話 ☐ その他()	
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		☒ コンクリート ☐ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☐ アスファルト・コンクリート ☐ 木材	
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数 <u>不明</u> その他()	
	周辺状況	周辺にある施設 ☒ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☒ その他(保育園) 敷地境界との最短距離 約 <u>5</u> m その他()	
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容		工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
	作業場所	作業場所 ☒ 十分 ☐ 不十分 その他(道路内での作業)	
	搬出経路	障害物 ☐ 有() ☒ 無 前面道路の幅員 約 <u>4~6</u> m 通学路 ☒ 有 ☐ 無 その他()	
	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ)	☐ 有() ☒ 無	
	その他		周辺住民への周知
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)
	①仮設	仮設工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ()	その他の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		☐ 上の工程における⑤→④→③の順序 ☐ その他() その他の場合の理由()	
工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)		トン	
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)	種類	使用部分又は発生が見込まれる部分(注)
		☒ コンクリート塊	1.2トン ☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☒ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
		☒ アスファルト・コンクリート塊	11.9トン ☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☒ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
		☐ 建設発生木材	トン ☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他			
備考			

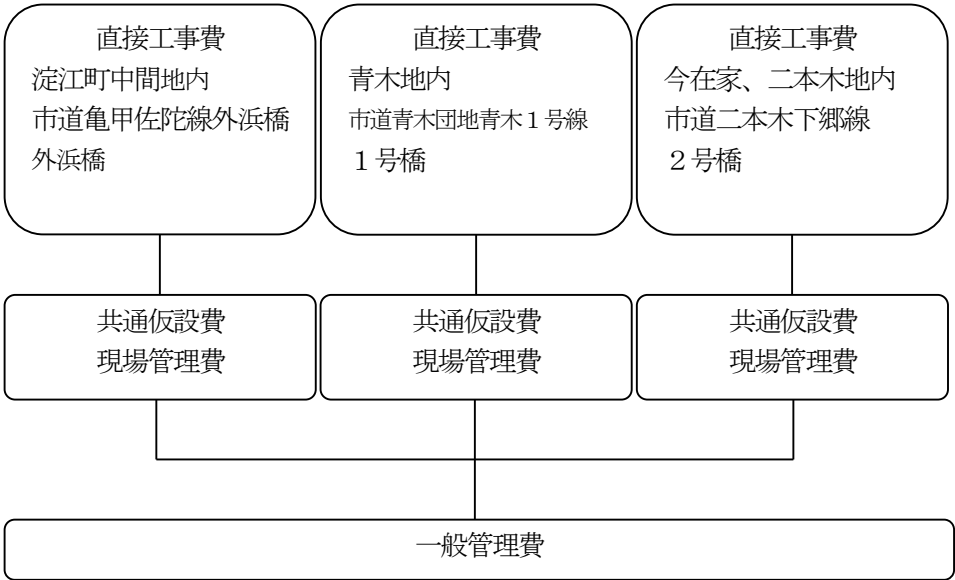
□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

施工箇所が点在する工事の間接工事費の積算方法 現場説明書

本工事における一般管理費は、施工箇所毎に分けない積算と同様とするが、共通仮設費及び現場管理費の金額は、工事箇所毎に算出した共通仮設費及び現場管理費を合計した金額としている。なお、共通仮設費率、現場環境改善費率、及び現場管理費率の補正については、工事箇所毎に設定している。一般管理費算出時の共通仮設費率、及び現場管理費率にかかる施工地域を考慮した補正は、市道亀甲佐陀線外浜橋の設計書で設定した係数とする。

工事箇所名	施工箇所名
米子市淀江町中間地内	市道亀甲佐陀線外浜橋
米子市青木地内	市道青木団地青木 1 号線 1 号橋
米子市今在家、二本木地内	市道二本木下郷線 2 号橋

《工事費体系イメージ図》



総括情報表

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	54 米子市 設計書 当初 07-*****-00020-10 0 1 実施単価 33 米子市 淀江町 00-06.11.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 契約保証区分 豪雪割増 工期算定区分 週休二日補正係数	38 橋梁保全工事 01 率計上する（地方部） 13 一般交通影響有り(2) 01 金銭保証（0. 0 4 %） 01 豪雪割増あり 02 算出しない 12 月単位の週休 2 日				

本工事費 内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										X1000	
橋梁保全工事 外浜橋										Y1G03	(ㄌゝㄌ1)
					一式						
橋梁附属物工										Y2999	(ㄌゝㄌ2)
					一式						
排水装置補修工										Y3999	(ㄌゝㄌ3)
排水装置補修工										Y4999	(ㄌゝㄌ4)
排水装置補修工										V1020	00
		1			一式					単第0 -0001 表	061110
防護柵補修工										Y3999	(ㄌゝㄌ3)
防護柵取換工										Y4999	(ㄌゝㄌ4)
防護柵設置工 Gr-C-2B-4(白)特殊 BP付 L=19.4m										V0015	00
		1			一式					単第0 -0003 表	061110

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
地覆嵩上げ工						Y3999 (1^ 13)
地覆嵩上げ工						Y4999 (1^ 14)
チッピング (厚2cm以下)						SPK24040370 00 A=1
	10	m2				単第0 -0006 表 061110
コンクリート打設 1日当り打設量_10m3未満						S2030085 00 A=1,B=1,C=5,D=26,E=1
-	1.0	m3				単第0 -0002 表 061110
アンカー 適用アンカー材径25mm以下 下方向						SPK24040349 00 A=1,B=2,C=1
	152	本				単第0 -0007 表 061110
鉄筋 SD345 D13						SPK24040334 00 A=4,B=1
	0.1	t				単第0 -0008 表 061110
目地処理工						Y3999 (1^ 13)
			一式			
目地処理工 D=10mm						V1012 00
	29	m				単第0 -0009 表 061110
橋梁補修工						Y1G0324 (1^ 12)
			一式			

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
ひび割れ補修工						Y1G032404 (Ⅱ)Ⅲ3)
			一式			
低圧注入工法						Y1G03240402 (Ⅱ)Ⅲ4)
			構造物			
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長31.1m						S1020037 00 A=31.1,B=1,C=29.3,D=2,E=7.5,F=3,G=125
	1		構造物			単第0 -0010 表 061110
断面修復工						Y1G032405 (Ⅱ)Ⅲ3)
			一式			
左官工法						Y1G03240501 (Ⅱ)Ⅲ4)
			構造物			
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積0.1m3未満の場合						S1020043 00 A=5,B=0.006
	1		構造物			単第0 -0011 表 061110
橋面補修工						Y3999 (Ⅱ)Ⅲ3)
橋面防水						Y4999 (Ⅱ)Ⅲ4)
橋面防水工(補修) 塗膜系防水 アスファルト系						SS000255 00 A=1
	49		m2			単第0 -0012 表 061110

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚70mm					SPK24040241 00 A=4,B=70,C=10,E=2,G=1,H=1,I=1
	49	m2			単第0 -0013 表 061110
橋面防水材料費					V0070 00
	1	一式			単第0 -0014 表 061110
区画線工					Y3999 (ℓ^ℓ3)
		一式			
ペイント式区画線					Y4999 (ℓ^ℓ4)
		m			
区画線設置(ペイント式) 溶剤型(加熱式) 実線_15cm					SDT00003 00 A=1,B=1,C=1,E=1,F=1,G=1,H=2,I=1
	21	m			単第0 -0015 表 061110
構造物撤去工					Y1G0327 (ℓ^ℓ2)
		一式			
構造物取壊し工					Y3999 (ℓ^ℓ3)
Co取り壊し					Y4999 (ℓ^ℓ4)
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満					SPK24040118 00 A=1
	208	孔			単第0 -0016 表 061110

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単	価	金	額	備	考
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工							SDT00033 00 A=1,B=1,C=2,D=1	
	0.2	m3					単第0 -0017 表 (16) 14)	061110
舗装版撤去							Y4999	
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下							SPK24040305 00 A=1,B=1,C=2,D=1,F=1,G=1	
	49	m2					単第0 -0018 表 (16) 14)	061110
殻運搬							Y1A01141601	
		m3						
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離11.5km以下(9.0km超)							SPK24040410 00 A=1,B=2,C=11	
	0.1	t					単第0 -0019 表	061110
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)							SPK24040151 00 A=2,B=1,C=1,D=25,E=1	
	0.2	m3					単第0 -0020 表	061110
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離17.5km以下(12.0km超)							SPK24040151 00 A=3,B=2,C=2,D=54,E=1	
	3	m3					単第0 -0021 表	061110
投棄料							#0041 C=投棄料	
			一式					
処分費 コンクリート殻 無筋 (株)大協組							TTV0430 00	
	0.5	t						061110

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費 アスファルト殻					TTV0431 00
カネックス(株)	8	t			061110
スクラップ					Y4999 (16) 14)
スクラップ 鉄くず ヘビー H 1		一式			TTU0052 00
	0.1	t			061110 8
仮設工					Y1G0328 (16) 12)
		一式			
仮足場工					Y3900 (16) 13)
		一式			
足場					Y4900 (16) 14)
		m2			
片側朝顔防護足場 タイプE シート+板張防護 現場環境条件補正：1.0 橋梁架設工事の積算 P4-13	33	m2			V0019 00 単第0 -0022 表 061110
交通管理工					Y1G032821 (16) 13)
		一式			
交通誘導警備員					Y1G03282101 (16) 14)
		人			

本工事費 内訳書

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導警備員B						R0369 00
	16		人			061110 1
※※直接工事費※※						
技術管理費						Z0006
鉄筋探査 下向き						V6001 00
	1		一式			単第0 -0023 表 061110
現場環境改善費						Z0012
共通仮設費						
※※共通仮設費計※※						
※※純工事費※※						
現場管理費						

本工事費 内訳書

頁0-0009

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事原価							
一般管理費率分							
契約保証費							
一般管理費計							
工事価格							
消費税相当額							
工事費計							

排水装置補修工

V1020

施 工 単 価 表

単第0 -0001 表

頁0-0010

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
矩形鋼管 □100×50×2.3 L=3.6m,5.14kg/m	0.018	t			W0001
コンクリート打設 1日当り打設量_10m3未満 -	0.25	m3			建設物価2024.11 P47 S2030085 単第0-0002 表
*** 単位当たり ***	1	一式			

コンクリート打設
1日当り打設量_10m3未満

S2030085

施 工 単 価 表

単第0 -0002 表

頁0-0011

100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	3.200	人			RTPC00009
特殊作業員	7.400	人			RTPC00001
普通作業員	7.700	人			RTPC00002
生コンクリート 24-12-25 高炉	104.000	m 3			F0000000026
<賃>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊 オペレータ付	2.800	日			KTPC00014
諸雑費	11	%			長期割引適用外 #09
*** 合計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 1日当り打設量_10m3未満 C=5 コンクリート(各種) E=1 -			B=1 - D=26 【F】 コンクリート(m3)		
コンクリートの使用数量 = 設計量(m3)*(1+ロス率) = 100*(1+0.04) = 104.000(m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

頁0-0012

防護柵設置工
Gr-C-2B-4(白)特殊 BP付

V0015

単第0 -0003 表

1 式 当り

L=19.4m

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガードレール (Gr-C-2B-4) BP付 H=850mm	19.4	m			W0001 見積り
アンカーボルト M22×220	56	本			W0001 見積り
ケミカルアンカー	56	本			W0001 見積り
ガードレール撤去 天端モルタル仕上げ	19.4	m			V1030 単第0-0004 表
ガードレール設置	19.4	m			V1031 単第0-0005 表
*** 単位当たり ***	1	一式			

ガードレール撤去
天端モルタル仕上げ

V1030

施 工 単 価 表

単第0 -0004 表

頁0-0013

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.65	人			RTPC00009 1
特殊作業員	1.3	人			RTPC00001 1
普通作業員	1.3	人			RTPC00002 1
諸雑費	15	%			#01
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 単 価 表

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.75	人			RTPC00009 1
特殊作業員	1.5	人			RTPC00001 1
普通作業員	1.5	人			RTPC00002 1
諸雑費	5	%			#01
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

チップング (厚2cm以下)

SPK24040370

施 工 単 価 表

単第0 -0006 表

頁0-0015

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
特殊作業員	72.11%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.93%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施 工 単 価 表

SPK24040349

単第0 -0007 表

1

本 当り

アンカー
適用アンカー材径25mm以下
機械構成比： 0.00%

下方向
労務構成比： 100.00%

材料構成比： 0.00%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
特殊作業員	49.79%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	26.94%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	22.28%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 適用アンカー材径25mm以下 C=1 -(全ての費用)			B=2 下方向		

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
鉄筋工	38.61%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	18.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.61%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼 SD345 D13	32.10%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPC00001 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=4 SD345 D13			B=1 -(全ての費用)		

目地処理工
D=10mm

V1012

施 工 単 価 表

単第0 -0009 表

頁0-0018

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
高機能止水材 メジエイド同等品	10	m			W0001 見積り 1
シール材 シリコン系	1.7	L			W0001 建設物価2024.11 P346 1
雑材料	5	%			#01
土木一般世話役	1.0	人			RTPC00009 2
特殊作業員	2.0	人			RTPC00001 2
普通作業員	2.0	人			RTPC00002 2
ハンドカッター モータ式	1.0	台			W0001 見積り 2
発電機	1.0	日			W0001 見積り 2
電動ブレーカー	1.0	台			W0001 見積り 2
ダンプトラック	1.0	台			W0001 見積り 2
雑材料	10	%			#02
*** 合計 ***	10	m			

07-*****-00020-10

米 子 市

目地処理工
D=10mm

V1012

施 工 単 価 表

単第0 -0009 表

頁0-0019

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 単 価 表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長31.1m

S1020037

単第0 -0010 表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.804	人			RTPC00009 9
特殊作業員	2.986	人			RTPC00001 9
普通作業員	2.208	人			RTPC00002 9
土木補修用エポキシ樹脂注入材 1種	29.300	kg			F0000000001 県単価
シール材	10.275	kg			F0000000002 県単価
低圧注入器具	125.000	個			F0000000003 見積り
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=31.1 1構造物当り補修延べ延長(m/構造物) C=29.3 注入材の必要数量(kg/構造物) E=7.5 シール材の設計数量(kg/構造物) G=125 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)			B=1 【F】 注入材(kg) D=2 【F】 シール材(kg) F=3 【F】 低圧注入器具(個)		
土木一般世話役 = $L / 10 * D2 = 31.100000000 / 10 * 0.58 = 1.804$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = $L / 10 * D2 = 31.100000000 / 10 * 0.96 = 2.986$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = $L / 10 * D2 = 31.100000000 / 10 * 0.71 = 2.208$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め シール材の材料使用数量 = 設計数量(kg) * (1 + ロス率) = $7.500000000 * (1 + 0.37) = 10.275$ (kg) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

頁0-0021

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)

S1020043
修復延べ体積0.1m3未満の場合

単第0 -0011 表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.900	人			RTPC00009
特殊作業員	3.200	人			RTPC00001
普通作業員	2.100	人			RTPC00002
断面修復材 ポリマーセメントモルタル	0.007	m 3			F0000000005
諸雑費	9	%			県単価 #09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=5 【F】 断面修復材(m3)			B=0.006	断面修復材の設計数量(m3/構造物)	
断面修復材の使用数量 = 設計数量(m3) * (1 + ロス率) = 0.006000000 * (1 + 0.18) = 0.007(m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

SS000255

単第0 -0012 表

橋面防水工(補修) 塗膜系防水
アスファルト系

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
塗膜系防水【材工共】 アスファルト系 補修	1.000	m2			TSD00273
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 -					

施 工 単 価 表

頁0-0023

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0013 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚70mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.35%

労務構成比: 9.47%

材料構成比: 89.18%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6m	0.87%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t	0.13%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t	0.13%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	1.94%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	1.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.67%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0-0024

表層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

SPK24040241

1層当り平均仕上厚70mm

単第0 -0013 表

1

m2 当り

機械構成比：

1.35%

労務構成比：

9.47%

材料構成比：

89.18%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
改質アスファルト混合物 密粒 (20) ポリマー改質II型 (目標DS3000)	81.56%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0044 TTPT00284
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	7.06%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.47%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=10 改質As 密粒 II型(20) DS3000 G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=70 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		

施 工 単 価 表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ステンレス製排水用導水管 φ18	17	m			W0001 建設物価2024.11月 P227
導水テープ 3×30mm	12	m			W0001 建設物価2024.11月 P227
成型目地材 幅30mm×厚5mm RCシール相当	29	m			W0001 建設物価2024.11月 P226
*** 単位当たり ***	1	一式			

施 工 単 価 表

区画線設置(ペイント式)
溶剤型(加熱式) 実線_15cm

SDT00003

単第0 -0015 表

1,000 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_ペイント式【手間のみ】_豪雪 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			TDT000331
トラフィックペイント(JISK5665_2種B) 加熱型(液状) 白	72.100	L			T1080013
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	60.770	kg			T1080035
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	33.990	L			TTPC00013
諸雑費	1	一式			#91
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 白色 F=1 時間的制約なし H=2 豪雪地域の場合			B=1 溶剤型(加熱式) E=1 実線_15cm G=1 - I=1 -(全ての費用)		

施 工 単 価 表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK24040118

単第0 -0016 表

1

孔 当り

削孔深さ30mm以上200mm未満

機械構成比： 2.30% 労務構成比： 95.32% 材料構成比： 2.38% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 出力2kVA	1.10%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40mm	0.77%		電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.43%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン レギュラー スタンド	1.94%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施 工 単 価 表

SPK24040118

単第0 -0016 表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

削孔深さ30mm以上200mm未満

機械構成比： 2.30% 労務構成比： 95.32% 材料構成比： 2.38% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1

孔 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 削孔深さ30mm以上200mm未満					

施 工 単 価 表

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)

SDT00033

単第0 -0017 表

機械施工

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			TDT001573
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 昼間施工 C=2 低騒音・低振動対策			B=1 機械施工 D=1 時間的制約なし		

施工単価表

頁0-0030

舗装版破碎

SPK24040305

単第0 -0018 表

アスファルト舗装版

障害等無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 31.76%

労務構成比:

62.64%

材料構成比: 5.60%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ用アタッチメント コンクリート圧砕装置(大割機) 開口幅735～850mm破砕力550～980kN	21.93%		バックホウ用アタッチメント コンクリート圧砕装置(大割機) 開口幅735～850mm 破砕力550～980kN		MTPC00051 MTPT00051
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)	9.83%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
特殊運転手	28.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	5.60%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=2 騒音振動対策必要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0-0031

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付BT2t級2.9t吊

SPK24040410

片道運搬距離11.5km以下(9.0km超)

単第0 -0019 表

1

t 当り

機械構成比： 13.58% 労務構成比：

83.54%

材料構成比： 2.88%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.58%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
特殊運転手	42.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 C=11 片道運搬距離11.5km以下(9.0km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0-0032

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0020 表

Co(鉄筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

1

m3 当り

機械構成比： 41.69%

労務構成比：

43.88%

材料構成比： 14.43%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

施工単価表

単第0 -0021 表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比： 44.95% 労務構成比： 38.97% 材料構成比： 16.08% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m3 当り

SPK24040151

DID区間有り 運搬距離17.5km以下(12.0km超)

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	38.97%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=2 機械積込(騒対不要,15cm超)又(騒対要) D=54 運搬距離17.5km以下(12.0km超)		

施 工 単 価 表

片側朝顔防護足場 タイプE
シート+板張防護

V0019
現場環境条件補正：1.0
橋梁架設工事の積算 P4-13
単第0 -0022 表

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう特殊工	0.156	人			RTPC00020
足場損料	0.5	ヶ月			W0001
*** 単位当たり ***	1	m2			

鉄筋探査
下向き

V6001

施 工 単 価 表

単第0 -0023 表

頁0-0035

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師 (A) (外業)	0.5	人			R0880 1
技師 (B) (外業)	1	人			R0890 1
技師 (C) (外業)	1	人			R0900 1
雑材料	5	%			#01
*** 単位当たり ***	1	一式			

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	54 米子市 設計書 当初 06-*****-00033-10 0 1 実施単価 30 米子市 00-06.11.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 契約保証区分 豪雪割増 工期算定区分 週休二日補正係数	38 橋梁保全工事 01 率計上する（地方部） 13 一般交通影響有り(2) 01 金銭保証（0. 0 4 %） 01 豪雪割増あり 02 算出しない 12 月単位の週休2日				

本工事費 内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						X1000
橋梁保全工事 1号橋						Y1G03 (ㄌㄞ`ㄌ1)
橋梁補修工			一式			Y1G0324 (ㄌㄞ`ㄌ2)
断面修復工			一式			Y1G032405 (ㄌㄞ`ㄌ3)
左官工法			一式			Y1G03240501 (ㄌㄞ`ㄌ4)
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0. 1 1 1 m3	1		構造物			S1020041 00 A=0.111,B=5,C=0.111 単第0 -0001 表 061110
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1		構造物			S1020043 00 A=5,B=0.02 単第0 -0002 表 061110
橋面補修工						Y3999 (ㄌㄞ`ㄌ3)
橋面防水						Y4999 (ㄌㄞ`ㄌ4)

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋面防水工(補修) 塗膜系防水 アスファルト系						SS000255 00 A=1
	17	m2				単第0 -0003 表 061110
橋面防水材料費						V0070 00
	1	一式				単第0 -0004 表 061110
スラブドレーン設置						V0071 00
	2	箇所				単第0 -0005 表 061110
舗装工						Y3999 (ℓ^ℓ3)
舗装工						Y4999 (ℓ^ℓ4)
基層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚 4 0 mm						SPK24040239 00 A=4,B=40,C=5,E=5,G=1,H=1,I=1
	15	m2				単第0 -0006 表 061110
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚 4 0 mm						SPK24040241 00 A=4,B=40,C=10,E=1,G=1,H=1,I=1
	15	m2				単第0 -0007 表 061110
基層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚 4 0 mm						SPK24040239 00 A=4,B=40,C=5,E=2,G=1,H=1,I=1
	5	m2				単第0 -0008 表 061110
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚 4 0 mm						SPK24040241 00 A=4,B=40,C=10,E=1,G=1,H=1,I=1
	5	m2				単第0 -0007 表 061110

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物撤去工						Y1G0327 (レベル2)
			一式			
構造物取壊し工						Y3999 (レベル3)
Co取り壊し						Y4999 (レベル4)
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径100mm以上110mm未満 削孔深さ50mm以上200mm未満						SPK24040120 00 A=5,B=1
	2		孔			単第0 -0009 表 061110
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径60mm以上64mm未満 削孔深さ50mm以上200mm未満						SPK24040120 00 A=1,B=1
	2		孔			単第0 -0010 表 061110
舗装版撤去						Y4999 (レベル4)
クラック防止シート張						SPK24040309 00 A=1
	9		m			単第0 -0011 表 061110
クラック抑制シート ガラス基材 b=50cm						W0001
建設物価2024.11 P223	10		m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下						SPK24040306 00 A=1,B=1,E=1
	9		m			単第0 -0012 表 061110

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	19	m2				SPK24040305 00 A=1,B=1,C=2,D=1,F=1,G=1 単第0 -0013 表 061110
殻運搬		m3				Y1A01141601 (レベル4)
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離18.5km以下(14.4km超)	0.1	m3				SPK24040151 00 A=2,B=1,C=1,D=56,E=1 単第0 -0014 表 061110
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離17.5km以下(12.0km超)	2	m3				SPK24040151 00 A=3,B=2,C=2,D=54,E=1 単第0 -0015 表 061110
投棄料		一式				#0041 C=投棄料
処分費 コンクリート殻 無筋 (株)大協組	0.3	t				TTV0430 00 061110
処分費 アスファルト殻 カネックス(株)	4	t				TTV0431 00 061110
直接工事費						
技術管理費						Z0006

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋探査 下向き						V6001 00
	1		一式			単第0 -0016 表 061110
現場環境改善費						Z0012
共通仮設費						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費						
工事原価						
一般管理費率 分						
契約保証費						

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費計							
工事価格							
消費税相 当額							
工事費計							

施 工 単 価 表

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020041
修復延べ体積0.111m³

単第0 -0001 表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.553	人			RTPC00009
特殊作業員	4.218	人			RTPC00001
普通作業員	2.775	人			RTPC00002
断面修復材 ポリマーセメントモルタル	0.131	m ³			F000000005
諸雑費	11	%			県単価 #09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=0.111 1構造物当り修復延べ体積(m ³ /構造物) C=0.111 断面修復材の設計数量(m ³ /構造物)			B=5	【F】断面修復材(m ³)	
土木一般世話役 = $V / 0.1 * D2 = 0.111000000 / 0.1 * 2.3 = 2.553$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = $V / 0.1 * D2 = 0.111000000 / 0.1 * 3.8 = 4.218$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = $V / 0.1 * D2 = 0.111000000 / 0.1 * 2.5 = 2.775$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 断面修復材の使用数量 = 設計数量(m ³) * (1 + ロス率) = $0.111000000 * (1 + 0.18) = 0.131$ (m ³) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)

S1020043
修復延べ体積0.1m3未満の場合

単第0 -0002 表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.900	人			RTPC00009 9
特殊作業員	3.200	人			RTPC00001 9
普通作業員	2.100	人			RTPC00002 9
断面修復材 ポリマーセメントモルタル	0.024	m 3			F0000000005 県単価
諸雑費	9	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=5 【F】 断面修復材(m3)			B=0.02 断面修復材の設計数量(m3/構造物)		
断面修復材の使用数量 = 設計数量(m3) * (1 + ロス率) = 0.02000000 * (1 + 0.18) = 0.024(m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

SS000255

単第0 -0003 表

橋面防水工(補修) 塗膜系防水
アスファルト系

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
塗膜系防水【材工共】 アスファルト系 補修	1.000	m2			TSD00273
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 -					

橋面防水材料費

V0070

施 工 単 価 表

単第0 -0004 表

頁0-0011

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ステンレス製排水用導水管 φ18	17	m			W0001 建設物価2024.11月 P227
成型目地材 幅30mm×厚5mm RCシール相当	8	m			W0001 建設物価2024.11月 P226
スラブドレーン 標-1 床版厚180～225	1	基			W0001 見積り
スラブドレーン 標-2 床版厚210～290	1	基			W0001 見積り
フレキシブルチューブ SUS 片ナット L=150	2	本			W0001 見積り
注入接着剤 球°杉樹脂 3kg/セット	1	セット			W0001 見積り
*** 単位当たり ***	1	一式			

スラブドレーン設置

V0071

施 工 単 価 表

単第0 -0005 表

頁0-0012

10 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	5	人			RTPC00009 1
特殊作業員	10	人			RTPC00001 1
普通作業員	5	人			RTPC00002 1
諸雑費	15	%			#01
*** 合計 ***	10	箇所			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施 工 単 価 表

頁0-0013

基層(車道・路肩部)

SPK24040239

単第0 -0006 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚40mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.67%

労務構成比:

11.68%

材料構成比: 86.65%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6m	1.13%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t	0.17%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t	0.17%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.41%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	2.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.45%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.87%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0-0014

基層(車道・路肩部)

SPK24040239

単第0 -0006 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚40mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.67%

労務構成比:

11.68%

材料構成比: 86.65%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルト混合物 粗粒度(20)	85.96%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0037 TTPT00281
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=5 粗粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=40 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		

表層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比：

1.43%

労務構成比：

9.93%

材料構成比：

88.64%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

1

m2

当り

SPK24040241

1層当り平均仕上厚40mm

施工単価表

単第0 -0007 表

頁0-0015

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6m	0.91%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t	0.14%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t	0.14%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	2.04%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	1.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.70%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施 工 単 価 表

頁0-0016

表層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

SPK24040241

1層当り平均仕上厚40mm

単第0 -0007 表

1

m2 当り

機械構成比：

1.43%

労務構成比：

9.93%

材料構成比：

88.64%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
改質アスファルト混合物 密粒 (20) ポリマー改質II型 (目標DS3000)	85.53%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0044 TTPT00284
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	2.53%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=10 改質As 密粒 II型(20) DS3000 G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=40 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		

基層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比：

1.61%

労務構成比：

1層当り平均仕上厚40mm

11.21%

材料構成比：

87.18%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

1

m2

当り

SPK24040239

施工単価表

単第0 -0008 表

頁0-0017

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6m	1.02%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t	0.16%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t	0.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.01%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	2.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.23%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.80%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施 工 単 価 表

頁0-0018

基層(車道・路肩部)

SPK24040239

単第0 -0008 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚40mm

1

m2 当り

機械構成比： 1.61%

労務構成比：

11.21%

材料構成比： 87.18%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
アスファルト混合物 粗粒度(20)	78.16%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0037 TTPT00281
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	8.35%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=5 粗粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=40 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		

施 工 単 価 表

頁0-0019

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

SPK24040120

単第0 -0009 表

削孔径100mm以上110mm未満

削孔深さ50mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.82%

労務構成比:

63.14%

材料構成比:

34.04%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径φ25cm	1.44%		コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径φ25cm		MTPC00093 MTPT00093
<貸>発動発電機(ガソリン発電機) 出力3kVA	0.85%		<貸>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音		KTPC00042 KTPT00042
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	36.23%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.87%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.25%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット φ110mm	31.19%		ダイヤモンドビット φ110mm		TTPC00235 TTPT00235
ガソリン レギュラー スタンド	2.32%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施 工 単 価 表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

SPK24040120

単第0 -0009 表

削孔径100mm以上110mm未満

削孔深さ50mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比： 2.82%

労務構成比： 63.14%

材料構成比： 34.04%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=5 削孔径100mm以上110mm未満			B=1 削孔深さ50mm以上200mm未満		

施工単価表

頁0-0021

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

SPK24040120

単第0 -0010 表

削孔径60mm以上64mm未満

削孔深さ50mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 3.14%

労務構成比:

70.19%

材料構成比:

26.67%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径φ25cm	1.61%		コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径φ25cm		MTPC00093 MTPT00093
<貸>発動発電機(ガソリン発電機) 出力3kVA	0.95%		<貸>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音		KTPC00042 KTPT00042
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	40.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.83%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット φ64.7mm	23.50%		ダイヤモンドビット φ64.7mm		TTPC00232 TTPT00232
ガソリン レギュラー スタンド	2.58%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施 工 単 価 表

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

SPK24040120

単第0 -0010 表

削孔径60mm以上64mm未満

削孔深さ50mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比： 3.14%

労務構成比： 70.19%

材料構成比： 26.67%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 削孔径60mm以上64mm未満			B=1 削孔深さ50mm以上200mm未満		

クラック防止シート張

SPK24040309

施工単価表

単第0 -0011 表

頁0-0023

機械構成比： 5.36% 労務構成比： 93.58% 材料構成比： 1.06% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
タイヤローラ 普通型・排2 運転質量8～20t	5.36%		タイヤローラ 普通型・排2 運転質量8～20t		MTPC00155 MTPT00155
普通作業員	53.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	19.25%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	6.27%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	6.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.06%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施 工 単 価 表

頁0-0024

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0012 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比： 15.42%

労務構成比：

57.13%

材料構成比： 27.45%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン レギュラー スタンド	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施 工 単 価 表

舗装版切断
アスファルト舗装版

SPK24040306

単第0 -0012 表

機械構成比： 15.42% 労務構成比： 57.13% 材料構成比： 27.45% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

舗装版破碎
アスファルト舗装版

SPK24040305

障害等無し 舗装版厚15cm以下

単第0 -0013 表

1

m2 当り

機械構成比： 31.76% 労務構成比： 62.64% 材料構成比： 5.60% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ用アタッチメント コンクリート圧砕装置(大割機) 開口幅735～850mm破碎力550～980kN	21.93%		バックホウ用アタッチメント コンクリート圧砕装置(大割機) 開口幅735～850mm 破碎力550～980kN		MTPC00051 MTPT00051
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)	9.83%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
特殊運転手	28.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	5.60%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=2 騒音振動対策必要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0-0027

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0014 表

Co(鉄筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離18.5km以下(14.4km超)

1

m3 当り

機械構成比： 41.69% 労務構成比：

43.88%

材料構成比： 14.43%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=56 運搬距離18.5km以下(14.4km超)		

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比：44.95%

SPK24040151
DID区間有り 運搬距離17.5km以下(12.0km超)
労務構成比：38.97%

単第0 -0015 表
市場単価構成比：0.00%

標準単価：1
m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	38.97%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=2 機械積込(騒対不要,15cm超)又(騒対要) D=54 運搬距離17.5km以下(12.0km超)		

鉄筋探査
下向き

V6001

施 工 単 価 表

単第0 -0016 表

頁0-0029

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師 (A) (外業)	0.5	人			R0880 1
技師 (B) (外業)	1	人			R0890 1
技師 (C) (外業)	1	人			R0900 1
雑材料	5	%			#01
*** 単位当たり ***	1	一式			

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	54 米子市 設計書 当初 06-*****-00032-10 0 1 実施単価 30 米子市 00-06.11.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 契約保証区分 豪雪割増 工期算定区分 週休二日補正係数	38 橋梁保全工事 01 率計上する（地方部） 13 一般交通影響有り(2) 01 金銭保証（0. 0 4 %） 01 豪雪割増あり 02 算出しない 12 月単位の週休2日				

本工事費 内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										X1000	
橋梁保全工事 2号橋										Y1G03	(1^1)
					一式						
橋梁附属物工										Y2999	(1^2)
					一式						
目地処理工										Y3999	(1^3)
					一式						
目地処理工 D=10mm										V1012	00
		2		m						単第0 -0001 表	061110
橋梁補修工										Y1G0324	(1^2)
					一式						
ひび割れ補修工										Y1G032404	(1^3)
					一式						
低圧注入工法										Y1G03240402	(1^4)
					構造物						
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合 エポキシ樹脂系1種										S1020035	00
		1		構造物						A=1,B=0.2,C=2,D=0.8,E=3,F=10	
										単第0 -0002 表	061110

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合 エポキシ樹脂系3種						S1020035 00 A=4,B=0.2,C=2,D=0.7,E=3,F=9
	1		構造物			単第0 -0003 表 061110
断面修復工						Y1G032405 (㏞㏞㏞)
			一式			
左官工法						Y1G03240501 (㏞㏞㏞)
			構造物			
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0. 1 5 2m3						S1020041 00 A=0.152,B=5,C=0.152
	1		構造物			単第0 -0004 表 061110
舗装工						Y3999 (㏞㏞㏞)
舗装工						Y4999 (㏞㏞㏞)
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当たり平均仕上厚40mm						SPK24040241 00 A=4,B=40,C=10,E=2,G=1,H=1,I=1
	1		m2			単第0 -0005 表 061110
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当たり平均仕上厚40mm						SPK24040241 00 A=4,B=40,C=10,E=1,G=1,H=1,I=1
	1		m2			単第0 -0006 表 061110
構造物撤去工						Y1G0327 (㏞㏞㏞)
			一式			

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物取壊し工						Y3999 (ｲﾝﾍﾞﾙ3)
舗装版撤去						Y4999 (ｲﾝﾍﾞﾙ4)
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	6	m				SPK24040306 00 A=1,B=1,E=1 単第0 -0007 表 061110
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	1	m2				SPK24040305 00 A=1,B=1,C=1,D=1,F=1,G=1 単第0 -0008 表 061110
殻運搬			m3			Y1A01141601 (ｲﾝﾍﾞﾙ4)
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	0.2	m3				SPK24040151 00 A=1,B=1,C=1,D=34,E=1 単第0 -0009 表 061110
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離17.5km以下(12.0km超)	0.1	m3				SPK24040151 00 A=3,B=2,C=2,D=54,E=1 単第0 -0010 表 061110
投棄料			一式			#0041 C=投棄料
処分費 コンクリート殻 無筋 (株)大協組	0.4	t				TTV0430 00 061110

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
仮設工	処分費 アスファルト殻									TTV0431	00
	カネックス(株)	0.3	t								061110
					一式					Y1G0328	(1^`l2)
交通管理工										Y1G032821	(1^`l3)
					一式						
交通誘導警備員										Y1G03282101	(1^`l4)
					人						
交通誘導警備員B										R0369	00
		2	人								061110 1
直接工事費											
現場環境改善費										Z0012	
共通仮設費											
共通仮設費計											

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
※※純工事費※※						
現場管理費						
※※工事原価※※						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
※※工事価格※※						
※※消費税相当額※※						
※※工事費計※※						

目地処理工
D=10mm

V1012

施 工 単 価 表

単第0 -0001 表

頁0-0007

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
高機能止水材 メジエイド同等品	10	m			W0001 見積り 1
シール材 シリコン系	1.7	L			W0001 建設物価2024.11 P346 1
雑材料	5	%			#01
土木一般世話役	1.0	人			RTPC00009 2
特殊作業員	2.0	人			RTPC00001 2
普通作業員	2.0	人			RTPC00002 2
ハンドカッター モータ式	1.0	台			W0001 見積り 2
発電機	1.0	日			W0001 見積り 2
電動ブレーカー	1.0	台			W0001 見積り 2
ダンプトラック	1.0	台			W0001 見積り 2
雑材料	10	%			#02
*** 合計 ***	10	m			

目地処理工
D=10mm

V1012

施 工 単 価 表

単第0 -0001 表

頁0-0008

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 単 価 表

単第0 -0002 表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035
エポキシ樹脂系1種

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.500	人			RTPC00009 9
特殊作業員	2.400	人			RTPC00001 9
普通作業員	1.800	人			RTPC00002 9
土木補修用エポキシ樹脂注入材 1 種	0.200	kg			F0000000001 県単価
シール材	1.096	kg			F0000000002 県単価
低圧注入器具	10.000	個			F0000000003 見積り
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=1 【F】 注入材(kg) C=2 【F】 シール材(kg) E=3 【F】 低圧注入器具(個)			B=0.2 注入材の必要数量(kg/構造物) D=0.8 シール材の設計数量(kg/構造物) F=10 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		
シール材の材料使用数量 = 設計数量(kg) * (1 + ロス率) = 0.800000000 * (1 + 0.37) = 1.096(kg) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

頁0-0010

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

エポキシ樹脂系3種

単第0 -0003 表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.500	人			RTPC00009 9
特殊作業員	2.400	人			RTPC00001 9
普通作業員	1.800	人			RTPC00002 9
土木補修用エポキシ樹脂注入材 3種	0.200	kg			F0000000004 県単価
シール材	0.959	kg			F0000000002 県単価
低圧注入器具	9.000	個			F0000000003 見積り
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=4 [F] 注入材(kg) C=2 [F] シール材(kg) E=3 [F] 低圧注入器具(個)			B=0.2 注入材の必要数量(kg/構造物) D=0.7 シール材の設計数量(kg/構造物) F=9 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		
シール材の材料使用数量 = 設計数量(kg) * (1 + ロス率) = 0.700000000 * (1 + 0.37) = 0.959(kg) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020041
修復延べ体積0.152m3

単第0 -0004 表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	3.496	人			RTPC00009 9
特殊作業員	5.776	人			RTPC00001 9
普通作業員	3.800	人			RTPC00002 9
断面修復材 ポリマーセメントモルタル	0.179	m3			F000000005 県単価
諸雑費	11	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=0.152 1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=0.152 断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=5	【F】断面修復材(m3)	
土木一般世話役 = $V / 0.1 * D2 = 0.152000000 / 0.1 * 2.3 = 3.496$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = $V / 0.1 * D2 = 0.152000000 / 0.1 * 3.8 = 5.776$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = $V / 0.1 * D2 = 0.152000000 / 0.1 * 2.5 = 3.800$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 断面修復材の使用数量 = 設計数量(m3) * (1 + ロス率) = $0.152000000 * (1 + 0.18) = 0.179$ (m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

頁0-0012

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0005 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚 4 0 mm

1

m2 当り

機械構成比：

1.35%

労務構成比：

9.47%

材料構成比：

89.18%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6m	0.87%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t	0.13%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t	0.13%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	1.94%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	1.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.67%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施 工 単 価 表

頁0-0013

表層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比：

1.35%

労務構成比：

9.47%

材料構成比：

89.18%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

1

m2

当り

SPK24040241

1層当り平均仕上厚40mm

単第0 -0005 表

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
改質アスファルト混合物 密粒 (20) ポリマー改質II型 (目標DS3000)	81.56%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0044 TTPT00284
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	7.06%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	0.47%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=10 改質As 密粒 II型(20) DS3000 G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=40 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		

施工単価表

頁0-0014

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0006 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚40mm

1

m2 当り

機械構成比:

1.43%

労務構成比:

9.93%

材料構成比:

88.64%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6m	0.91%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8~20t	0.14%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t	0.14%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊運転手	2.04%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	1.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.70%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0-0015

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0006 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚40mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.43%

労務構成比: 9.93%

材料構成比: 88.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
改質アスファルト混合物 密粒(20) ポリマー改質II型(目標DS3000)	85.53%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0044 TTPT00284
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	2.53%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	0.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=10 改質As 密粒 II型(20) DS3000 G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=40 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		

施 工 単 価 表

頁0-0016

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0007 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比： 15.42%

労務構成比：

57.13%

材料構成比： 27.45%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン レギュラー スタンド	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

機械構成比： 15.42%

57.13% 材料構成比： 27.45%

單第0 -0007 表

標準単価：

米子市

施 工 単 価 表

舗装版破碎
アスファルト舗装版

SPK24040305
障害等無し 舗装版厚15cm以下

単第0 -0008 表

1

m2 当り

機械構成比： 13.49% 労務構成比： 80.49% 材料構成比： 6.02% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3)	13.49%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	28.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	27.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	23.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	6.02%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0-0019

殻運搬

SPK24040151

単第0 -0009 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

1

m3 当り

機械構成比： 41.69%

労務構成比：

43.88%

材料構成比： 14.43%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

施 工 単 価 表

頁0-0020

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比： 44.95% 労務構成比： 38.97%

SPK24040151
DID区間有り 運搬距離17.5km以下(12.0km超)

材料構成比： 16.08% 市場単価構成比： 0.00%

単第0 -0010 表

1
標準単価：

m3 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	38.97%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=2 機械積込(騒対不要,15cm超)又(騒対要) D=54 運搬距離17.5km以下(12.0km超)		

1.1 補修数量総括表

桥梁名： 外浜橋（亀甲佐陀線）

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベ ル 格 5	単 位	数 量	備 考
橋梁保全工事	構造物補修工	ひびわれ補修工 低圧注入工法	ひびわれ注入工 延べ施工量	エポキシ樹脂系3種	m	31.1	
				ひびわれ注入工 1橋当り延べ延長	m	31.1	
			シール材	エポキシ樹脂系	kg	7.5	
			ひびわれ注入材	エポキシ樹脂系3種	kg	29.3	ロス率40%を含む
			注入器	低圧注入器	個	125	設置間隔：250mm間隔
		断面修復工 左官工法		ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含まない	m ³	0.006	
				材料ロス	m ³	0.001	ロス率：18%
				左官工法 1橋当り延べ体積	m ³	0.007	
			殻運搬	コンクリート構造物 機械積込 運搬距離5km DID区間：無し	m ³	-	運搬処理工にて計上
			殻処分	がれき類	m ³	-	運搬処理工にて計上
					t	-	運搬処理工にて計上
	舗装工	橋面防水工	常温型塗膜系防水層		m ²	48.5	
			ドレーン材	スプリング管 φ18	m	17.2	
				材料ロス	m	0.9	ロス率：5%
				材料合計	m	18.1	
				導水テープ 3×30mm	m	12.1	
				材料ロス	m	0.6	ロス率：5%
				材料合計	m	12.7	
			目地工	成型目地材 b=30mm・t=5mm	m	29.4	
				材料ロス	m	1.5	ロス率：5%
				材料合計	m	30.9	
		道路打換え工	車道部	再生改質Ⅱ型アスファルト	m ²	48.5	平均幅員 5.0m
	付属施設工	区画線工	区画線設置	実線・幅15cm・供用区間・白色・厚1.5mm	m	20.6	加熱式
			区画線 加熱式				
	橋梁付属物工	排水装置補修工 矩形鋼管	既設排水管撤去	VP100	基	4	
			排水装置	STKR □100×50×2.3	基	6	
			排水管流心延長		m	3.6	
			排水管	STKR □100×50×2.3	m	3.6	
					kg	18.6	
			鉄筋コンクリート σ _{ck} =24N/mm ²	小型構造物 打設地上高さ2m以下 一般養生 現場内小運搬無	m ³	0.249	
				材料ロス	m ³	0.015	ロス率：6%

橋梁名：外浜橋（亀甲佐陀線）

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	備考
橋梁保全工事	橋梁付属物工	排水装置補修工 矩形鋼管		鉄筋構造物 人力施工	m ³	0.264	
			型枠	一般型枠 小型構造物	m ²	0.7	
			鉄筋探査工	下向き	m ²	-	構造物取壊し工にて計上
			構造物とりこわし工	鉄筋構造物 人力施工	m ³	-	構造物取壊し工にて計上
			殻運搬	コンクリート構造物 人力積込	m ³	-	運搬処理工にて計上
			殻処分	がれき類	m ³	-	運搬処理工にて計上
					t	-	運搬処理工にて計上
		防護柵設置工	既設防護柵撤去	C種 ガードレール	m	-	防護柵撤去工にて計上
			防護柵設置	C種 ガードレール	m	19.4	
			アンカー工	接着系アンカー（1支柱当り）	組	14	
				接着系アンカー M22×180	本	56	
			鉄筋探査工	下向き	m ²	-	構造物取壊し工にて計上
			コンクリート削孔工	削孔径φ10mm以上～30mm未満	孔	-	構造物取壊し工にて計上
				電動ハンマードリル 30mm以上200mm未満			
		地覆嵩上げ工	チッピング		m ²	9.7	
			コンクリート工	σck=24N/mm2	m ³	1.0	
			型枠工	一般型枠	m ²	4.1	
			鉄筋	SD345, D13	kg	94	
			接着系アンカー Vカット目地	(M12)	箇所	152	
					箇所	4	
			鉄筋探査工	下向き 0.4m×9.4m程度	m ²	-	構造物取壊し工にて計上
			コンクリート削孔工	コンクリート穿孔機 φ16 L=0.10m	孔	-	構造物取壊し工にて計上
			殻運搬	コンクリート構造物 人力積込 運搬距離5km DID区間：無し	m ³	-	運搬処理工にて計上
			殻処分	がれき類	m ³	-	運搬処理工にて計上
					t	-	運搬処理工にて計上
	構造物撤去工	構造物取壊し工	鉄筋探査工	下向き	m ²	14.7	
			コンクリート削孔工	削孔径φ10mm以上～30mm未満 電動ハンマードリル 30mm以上200mm未満	孔	208	
			構造物とりこわし工	鉄筋構造物 機械施工	m ³	0.2	
		運搬処理工	殻運搬	コンクリート構造物 機械積込 運搬距離5km DID区間：無し	m ³	0.2	
				舗装版破碎 機械積込 運搬距離16km DID区間：有り	m ³	3.4	
				殻処分（がれき類）	m ³	0.2	

橋梁名：外浜橋（亀甲佐陀線）

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	数量	備考
橋梁保全工事					t	0.5	
				舗装版破碎	m ³	3.4	
					t	8.0	
					m	19.4	
		防護柵撤去工	既設防護柵撤去	C種 ガードレール			
	仮設工	仮設足場工	吊足場	片側朝顔防護足場（TYPE Eシート張防護 両側施工）	m ²	33	

1.2 ひびわれ補修工

1.2.1 低圧注入工法（ひびわれ注入工）

（１） 延べ施工量

1) エポキシ樹脂注入材3種（対象：橋台）

・ $0.2 \leq w < 0.5 \text{ mm}$

$$L1 = 10.66 = 10.66 \text{ m}$$

・ $0.5 \leq w < 1.0 \text{ mm}$

$$L2 = 7.09 = 7.09 \text{ m}$$

・ $1.0 \leq w < 5.0 \text{ mm}$

$$L3 = 13.35 = 13.35 \text{ m}$$

ひびわれ注入工 1橋当り延べ延長

$$\Sigma L = 31.10 \text{ m}$$

（２） シール材

1) エポキシ樹脂系（対象：エポキシ樹脂注入材3種）

$w = 50 \text{ mm}$ （仮定）

$t = 3 \text{ mm}$ （仮定）

$\gamma = 1.60$ （低圧注入ひび割れ補修工用 シール材の比重）

$$W = 31.10 \times 0.050 \times 0.003 \times 1600 = 7.46 \text{ kg}$$

(3) 注入材

1) エポキシ樹脂注入材3種（対象：橋台）

・ $0.2 \leq w < 0.5 \text{ mm}$

$$\begin{aligned} w &= 0.33 \text{ mm} && (\text{ひび割れ平均幅}) \\ t &= 66 \text{ mm} && (\text{ひび割れ幅の200倍と仮定}) \\ \gamma &= 1.15 && (\text{土木補修用エポキシ樹脂注入材3種の比重}) \end{aligned}$$

$$W = 10.66 \times 0.00033 \times 0.066 \times 1150 \times 1.40 = 0.37 \text{ kg}$$

ロス率40%

・ $0.5 \leq w < 1.0 \text{ mm}$

$$\begin{aligned} w &= 0.65 \text{ mm} && (\text{ひび割れ幅}) \\ t &= 130 \text{ mm} && (\text{ひび割れ幅の200倍と仮定}) \\ \gamma &= 1.15 && (\text{土木補修用エポキシ樹脂注入材3種の比重}) \end{aligned}$$

$$W = 7.09 \times 0.00065 \times 0.130 \times 1150 \times 1.40 = 0.96 \text{ kg}$$

ロス率40%

・ $1.0 \leq w < 5.0 \text{ mm}$

$$\begin{aligned} w &= 2.55 \text{ mm} && (\text{ひび割れ平均幅}) \\ t &= 510 \text{ mm} && (\text{地覆高さにより仮定}) \\ \gamma &= 1.15 && (\text{土木補修用エポキシ樹脂注入材3種の比重}) \end{aligned}$$

$$W = 13.35 \times 0.00255 \times 0.510 \times 1150 \times 1.40 = 27.95 \text{ kg}$$

ロス率40%

$$\Sigma W = 29.28 \text{ kg}$$

(4) 注入器（低圧注入器）

・ 設置間隔：250mm間隔

$$N = 31.10 / 0.25 = 125 \text{ 個}$$

1.2.2 ひびわれ延長数量計算書

番号	部 位	ひびわれ		備 考
		w (mm)	L (m)	
I	A1橋台			
1		3.00	0.26	
2		1.30	0.57	
3		2.20	0.55	
4		0.50	0.47	
5		0.35	0.47	
6		0.30	0.38	
7		0.40	1.05	
8		3.00	0.25	
9		0.40	0.21	
10		1.00	0.50	
11		0.30	0.28	
12		1.50	0.48	
13		1.00	0.09	
14		1.30	0.35	
15		1.30	1.32	
16		0.25	0.27	
17		0.25	0.81	
18		0.25	0.52	
19		0.30	0.84	
20		0.30	0.61	
21		0.40	0.48	
22		0.40	0.11	
23		0.60	1.02	
24		0.55	0.34	
25		0.50	0.46	
26		0.35	0.17	
27		0.40	0.15	
28		0.40	0.13	
29		0.60	0.24	
30		2.00	1.25	
31		0.35	0.19	
32		0.35	0.23	
33		0.35	0.25	
34		0.40	0.34	
35		0.60	0.20	
36		5.00	0.97	
37		1.00	0.26	
38		0.60	1.00	
39		2.20	0.44	
40		0.60	0.40	
41		0.60	0.17	
42		5.00	3.06	
43		0.25	0.20	
44		0.80	0.54	
45		0.70	0.48	
46		0.70	0.08	
47		0.60	0.31	
48		5.00	2.81	
49		0.80	0.46	
50		0.80	0.26	

[illegible]

1.3 断面修復工（左官工法）

・ A1橋台、A2橋台は無筋構造物であるため、補修深さは30mmと仮定する。

1.3.1 左官工法（ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含まない）

（１） 延べ施工量

$$v1 = 0.006 = 0.006 \text{ m}^3$$

$$v2 = 0.006 \times 0.18 = 0.001 \text{ m}^3$$

ロス率18%

$$\Sigma V = 0.007 \text{ m}^3$$

1.3.2 殻処分（がれき類）

$$V = 0.007 = 0.007 \text{ m}^3$$

$$W = 0.007 \times 2.35 \text{ t} = 0.016 \text{ t}$$

1.3.3 左官工法 数量計算書

[illegible]

1.4 橋面防水工

1.4.1 常温型塗膜式防水層

(1) 塗膜系アスファルト加熱型防水層

$$A = 9.700 \times 5.000 = 48.500 \text{ m}^2$$

1.4.2 ドレーン材

(1) スプリング管 ($\phi 18$)

$$L1 = 4.300 + 4.300 + 4.300 + 4.300 = 17.200 \text{ m}$$

$$L2 = 17.200 \times \begin{matrix} 0.05 \\ \text{ロス率5\%} \end{matrix} = 0.860 \text{ m}$$

$$\Sigma V = 18.060 \text{ m}$$

(2) 導水テープ ($3 \times 30\text{mm}$)

$$L1 = 6.050 + 6.050 = 12.100 \text{ m}$$

$$L2 = 12.100 \times \begin{matrix} 0.05 \\ \text{ロス率5\%} \end{matrix} = 0.605 \text{ m}$$

$$\Sigma V = 12.705 \text{ m}$$

1.4.3 目地工

(1) 成型目地材 ($b=30\text{mm} \cdot t=5\text{mm}$)

$$L1 = 9.700 \times 2 + 5.000 \times 2 = 29.400 \text{ m}$$

材料ロス

$$L2 = 29.400 \times \begin{matrix} 0.05 \\ \text{ロス率5\%} \end{matrix} = 1.470 \text{ m}$$

1.5 道路打換え工

1.5.1 道路打換え (再生改質Ⅱ型アスファルト)

(1) 車道部 (t = 70mm)

$$A = 9.700 \times 5.000 = 48.500 \text{ m}^2$$

1.5.2 殻運搬

(1) 舗装版破碎 機械積込

$$V = 48.500 \times 0.070 = 3.395 \text{ m}^3$$

1.5.3 殻処分 (がれき類)

$$V = 3.395 = 3.395 \text{ m}^3$$

$$W = 3.395 \times 2.35\text{t} = 7.978 \text{ t}$$

1.6 区画線工

1.6.1 区画線工 (区画線設置 区画線 加熱式・手動)

(1) 実線・幅15cm・供用区間・白色(加熱式)

$$L = 10.300 + 10.300 = 20.600 \text{ m}$$

1.7 排水装置補修工（矩形鋼管）

1.7.1 既設排水管撤去（VP100）

（1）

$$N = 4 = 4 \text{ 基}$$

1.7.2 排水装置

$$N = 6 = 6 \text{ 基}$$

1.7.3 排水管流心延長

$$L = 0.600 \times 6 = 3.600 \text{ m}$$

1.7.4 排水管（STKR □100×50×2.3）

$$L = 0.600 \times 6 = 3.600 \text{ m}$$

$$W = 3.1 \times 6 = 18.6 \text{ kg}$$

1.7.5 鉄筋コンクリート（ $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ ）

（1） 小型構造物 打設地上高さ2m以下 一般養生 現場内小運搬無

$$v1 = 0.500 \times 0.200 \times 0.220 \times 6 = 0.132 \text{ m}^3$$

$$v2 = - 0.500 \times 0.100 \times 0.050 \times 6 = -0.015 \text{ m}^3$$

$$v3 = 0.500 \times 0.200 \times 0.220 \times 6 = 0.132 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.249 \text{ m}^3$$

$$v4 = 0.249 \times 0.06 = 0.015 \text{ m}^3$$

ロス率6%

$$\Sigma V = 0.264 \text{ m}^3$$

1.7.6 型枠 (一般型枠 鉄筋構造物)

$$a1 = 0.220 \times 0.200 \times 10 = 0.440 \text{ m}^2$$

$$a2 = 0.150 \times 0.200 \times 10 = 0.300 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 0.740 \text{ m}^2$$

1.7.7 鉄筋探索工 (下向き)

$$A = 0.500 \times 0.500 \times 6 = 1.500 \text{ m}^2$$

1.7.8 構造物とりこわし工 (鉄筋構造物 人力施工)

$$V = 0.500 \times 0.200 \times 0.220 \times 10 = 0.220 \text{ m}^3$$

1.7.9 殻運搬

(1) コンクリート構造物 人力積込

$$V = 0.220 = 0.220 \text{ m}^3$$

1.7.10 殻処分 (がれき類)

$$V = 0.220 = 0.220 \text{ m}^3$$

$$W = 0.220 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.517 \text{ t}$$

1.8 防護柵設置工

1.8.1 橋梁用防護柵設置 (C種 ガードレール)

$$L = 9.700 + 9.700 = 19.400 \text{ m}$$

1.8.2 アンカー工 (接着系アンカー)

(1) M22×180 (ケミカルアンカーR-22SN同等品以上)

$$N = 14 = 14 \text{ 組}$$

$$N = 14 \times 4 = 56 \text{ 本}$$

1.8.3 既設防護柵撤去 (C種 ガードレール)

$$L = 9.700 + 9.700 = 19.400 \text{ m}$$

1.8.4 鉄筋探査工 (下向き)

$$A = 0.50 \times 0.50 \times 14 = 3.500 \text{ m}^2$$

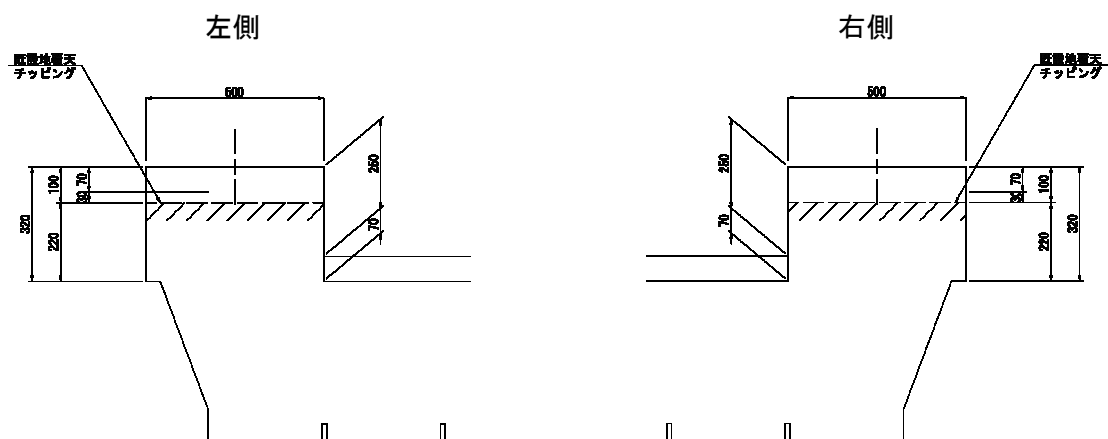
1.8.5 コンクリート削孔工 (削孔径φ10mm以上～30mm未満 電動ハンマードリル)

(1) 削孔径φ10mm以上～30mm未満 電動ハンマードリル 30mm以上200mm未満

1) φ24×180

$$N = 56 = 56 \text{ 孔}$$

1.9 地覆嵩上げ工



地覆長 $L = 9.700 \text{ m}$

1.9.1 チッピング

(1) 上流側

$$A = 0.500 \times 9.700 = 4.85 \text{ m}^2$$

(2) 下流側

$$A = 0.500 \times 9.700 = 4.85 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 4.85 + 4.85 = 9.70 \text{ m}^2$$

1.9.2 コンクリート工 ($\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$)

(1) 上流側

$$V = 0.500 \times 0.100 \times 9.700 = 0.49 \text{ m}^3$$

(2) 下流側

$$V = 0.500 \times 0.100 \times 9.700 = 0.49 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = \frac{0.49 \text{ m}^3}{0.98 \text{ m}^3}$$

1.9.3 型枠工

(1) 上流側

$$a1 = 0.100 \times 9.700 \times 2 = 1.94 \text{ m}^2$$

$$a2 = 0.500 \times 0.100 \times 2 = 0.10 \text{ m}^2$$

(2) 下流側

$$a1 = 0.100 \times 9.700 \times 2 = 1.94 \text{ m}^2$$

$$a2 = 0.500 \times 0.100 \times 2 = 0.10 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 4.08 \text{ m}^2$$

1.9.4 鉄筋 (SD345) D13 (地覆打替え工参照)

$$W = 94 \quad 94 \text{ kg}$$

1.9.5 接着系アンカー

(1) M12

$$N = 152 = 152 \text{ 箇所}$$

1.9.6 鉄筋探査工 (下向き)

$$A = 0.500 \times 9.700 \times 2 = 9.700 \text{ m}^2$$

1.9.7 Vカット目地

$$N = 4 = 4 \text{ 箇所}$$

1.9.8 コンクリート削孔工

(1) 削孔径 $\phi 10\text{mm}$ 以上 $\sim 30\text{mm}$ 未満 電動ハンマードリル 30mm 以上 200mm 未満

1) $\phi 16$ L=100 mm

$$N = 152 = 152 \text{ 孔}$$

$$L = 0.100 \times 152 = 15.200 \text{ m}$$

1.9.9 殻運搬

(1) コンクリート構造物 人力積込

$$v1 = \pi/4 \times 0.016^2 \times 0.100 \times 152 = 0.003 \text{ m}^3$$

1.9.10 殻処分 (がれき類)

$$V = 0.003 = 0.003 \text{ m}^3$$

$$W = 0.003 \times 2.35 \text{ t} = 0.007 \text{ t}$$

1.10 構造物取壊し工

1.10.1 鉄筋探査工

(1) 下向き

1) 橋梁地覆補修工

$$A = 9.700 = 9.700 \text{ m}^2$$

2) 排水装置補修工（矩形鋼管）

$$A = 1.500 = 1.500 \text{ m}^2$$

3) 防護柵設置工

$$A = 3.500 \quad \quad \quad \begin{array}{r} = 3.500 \text{ m}^2 \\ \hline \Sigma A = 14.700 \text{ m}^2 \end{array}$$

1.10.2 コンクリート削孔工

(1) 削孔径φ10mm以上～30mm未満 電動ハンマードリル 30mm以上200mm未満

1) 橋梁地覆補修工

$$N = 152 = 152 \text{ 孔}$$

2) 防護柵設置工

$$N = 56 \quad \quad \quad \begin{array}{r} = 56 \text{ 孔} \\ \hline \Sigma N = 208 \text{ 孔} \end{array}$$

1.10.3 構造物とりこわし工

(1) 鉄筋構造物 機械施工

1) 排水装置補修工（矩形鋼管）

$$V = 0.220 \quad \quad \quad \begin{array}{r} = 0.220 \text{ m}^3 \\ \hline \Sigma V = 0.220 \text{ m}^3 \end{array}$$

1.11 運搬処理工

1.11.1 殻運搬

(1) コンクリート構造物 人力積込

1) 断面修復工 (左官工法)

$$V = 0.007 \quad = 0.007 \text{ m}^3$$

2) 地覆嵩上げ工

$$V = 0.003 \quad = 0.003 \text{ m}^3$$

3) 排水装置補修工 (矩形鋼管)

$$V = 0.220 \quad = 0.220 \text{ m}^3$$
$$\Sigma V1 = 0.230 \text{ m}^3$$

(2) 舗装版破碎 機械積込

$$V = 3.395 \quad = 3.395 \text{ m}^3$$

1.11. 殻処分 (がれき類)

(1) コンクリート構造物

$$V = 0.230 \quad = 0.230 \text{ m}^3$$

$$W = 0.230 \times 2.35 \text{ t/m}^3 \quad = 0.541 \text{ t}$$

(2) 舗装版破碎

$$V = 3.395 \quad = 3.395 \text{ m}^3$$

$$W = 3.395 \times 2.35 \text{ t/m}^3 \quad = 7.978 \text{ t}$$

1.12 防護柵撤去工

1.12.1 既設防護柵撤去

(1) 路側用 A・B・C種 ガードレール

$$L = 19.400 = 19.400 \text{ m}$$

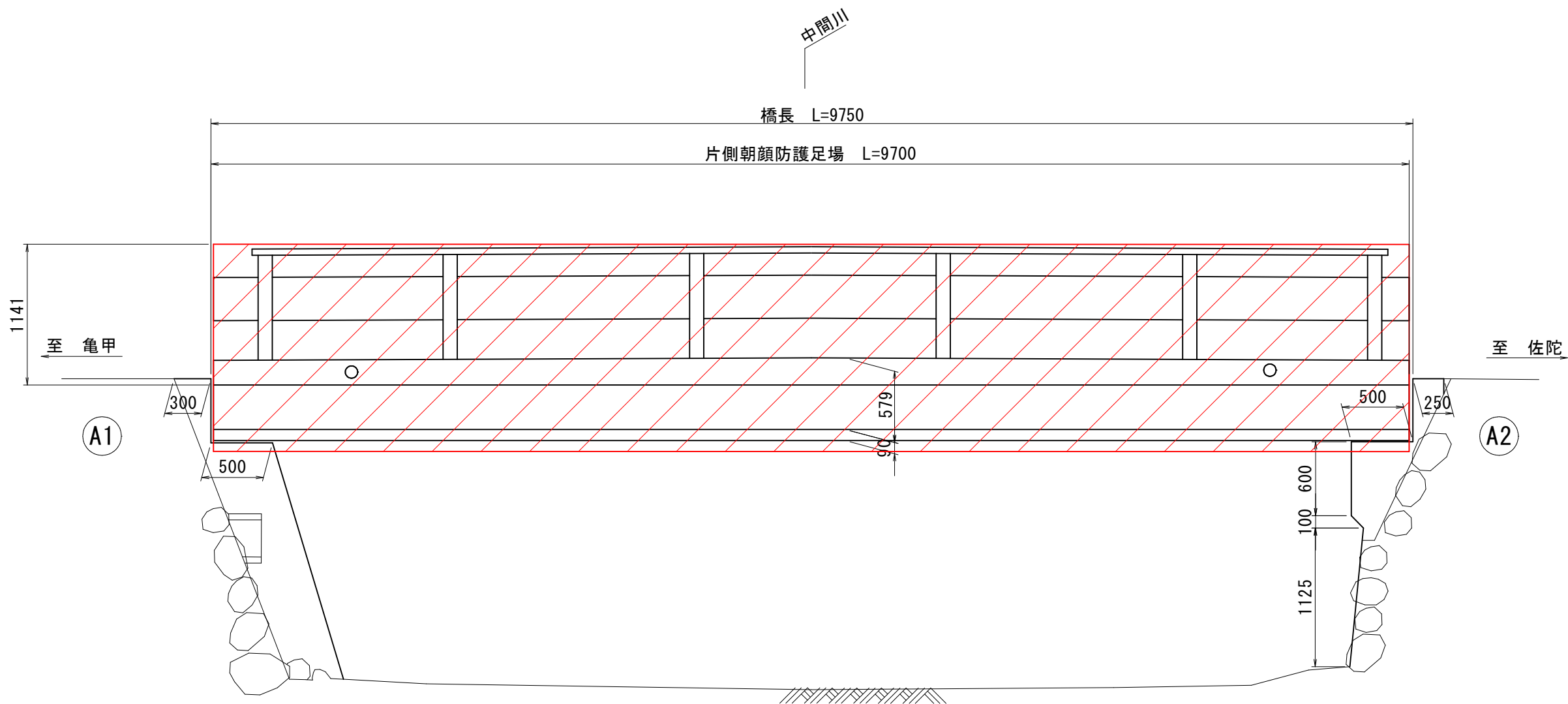
1.13 仮設足場工

1.13.1 片側朝顔防護足場 (TYPE E シート張防護 両側施工)

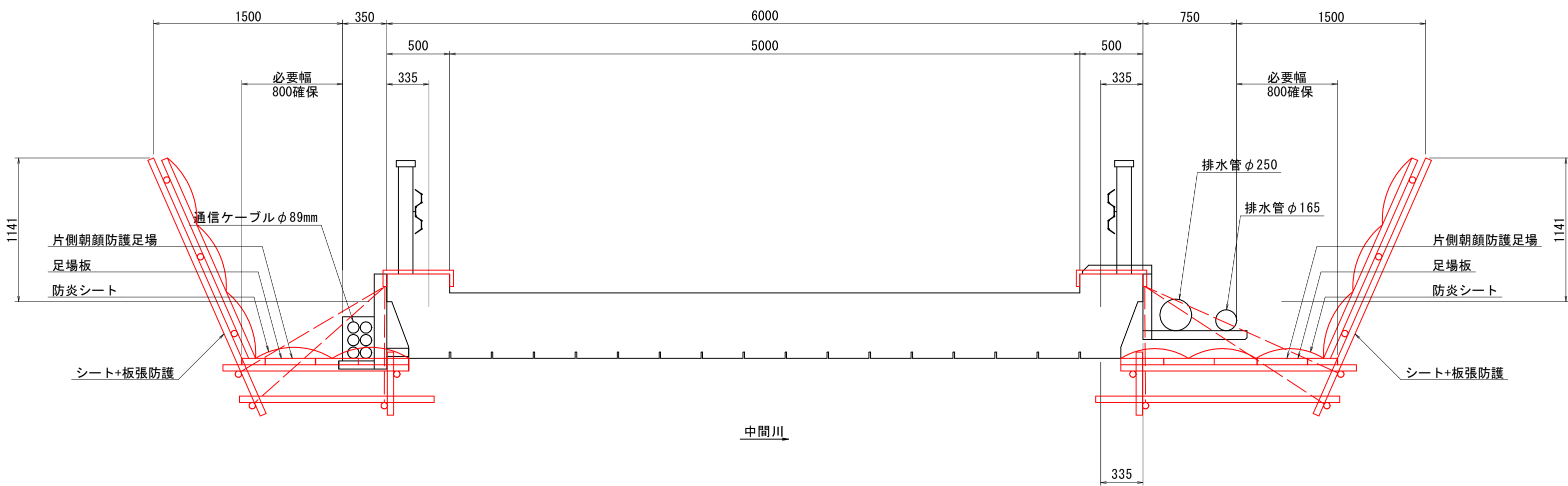
$$A = (1.885 + 1.485) \times 9.70 = 33 \text{ m}^2$$

外浜橋 仮設足場図（参考図）

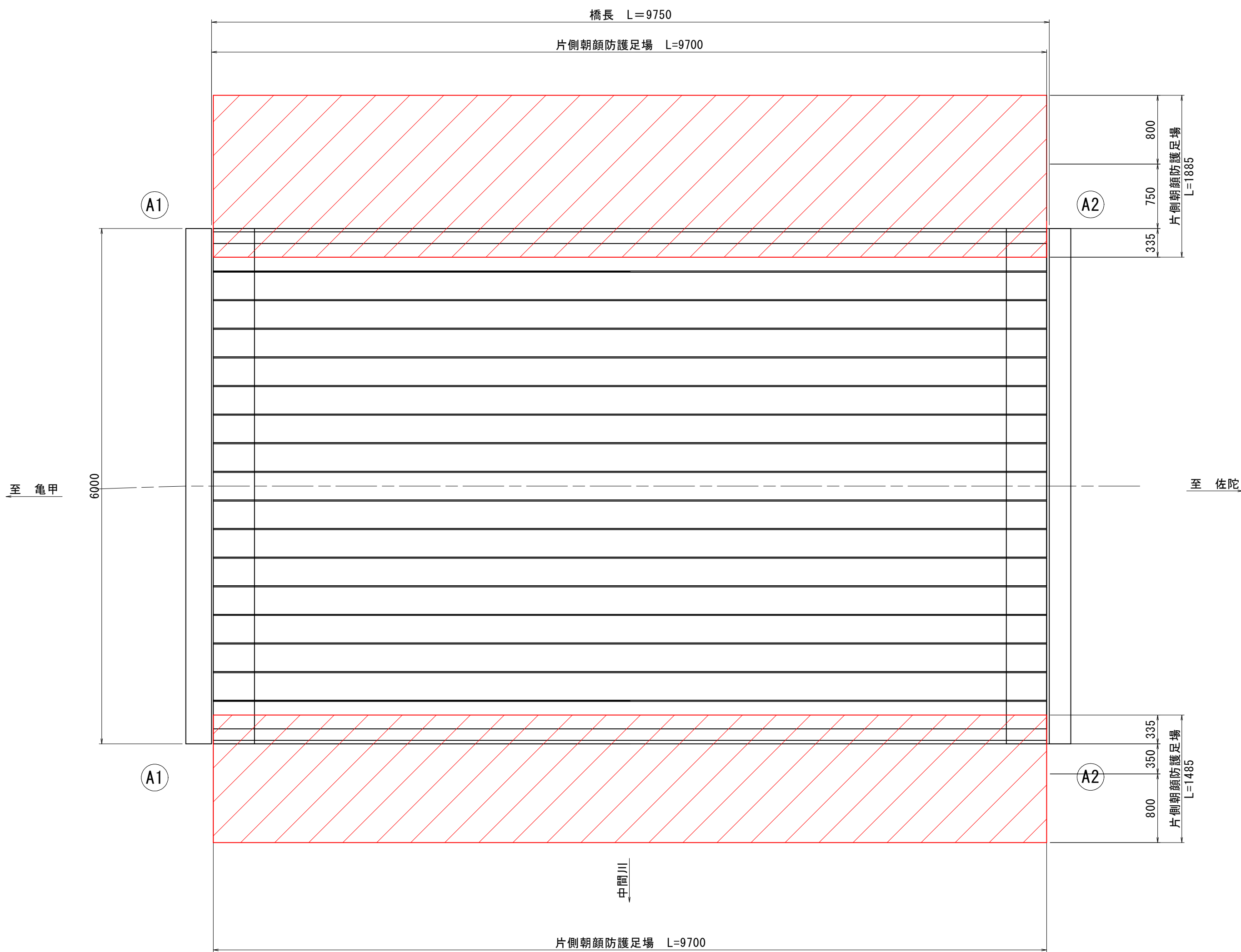
側面図 S=1 : 40
(下流側)



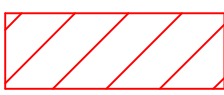
上部構造断面図 S=1 : 30



平面図 S=1 : 40



凡 例



片側朝顔防護足場 (TYPE E)

※ 足場架設は添架物の干渉を避けて設置すること。

※ 添架物に干渉する場合は、防護を行うこと。

図面番号	第 1 枚 内 1 号
図面名称	市道亀甲佐陀線外浜橋ほか2橋りょう補修工事 外浜橋(亀甲佐陀線) 足場架設図 (参考図)
縮 尺	図示 (A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

1.1 補修数量総括表

橋梁名： 1号橋

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単 位	数 量	備 考
	橋梁補修工	断面修復工 左官工法	左官工法	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含む	m ³	0.111	
				材料ロス	m ³	0.020	ロス率：18%
				ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含まない	m ³	0.020	
				材料ロス	m ³	0.004	ロス率：18%
				左官工法 1構造物当り延べ体積	m ³	0.131	
			鉄筋	SD345 D16以上D25以下	kg	19	
			殻運搬	コンクリート構造物	m ³	－	運搬処理工にて計上
			殻処分	がれき類	m ³	－	運搬処理工にて計上
					t	－	運搬処理工にて計上
	道路維持修繕工	舗装版クラック補修工 クラック防止シート	クラック抑制シート	ガラス基材 b=50cm	m	9.1	
				材料ロス	m	1.0	ロス率：11%
				材料合計	m	10.1	
			クラック防止シート張	クラック抑制シート	m	9.1	
		舗装版切断工	舗装版切断	アスファルト舗装 t=15cm以下	m	9.1	車道部・歩道部
		舗装版破碎工	舗装版破碎	舗装厚15cm以下	m ²	19.1	車道部
			殻運搬（舗装版破碎）	アスファルト塊	m ³	－	運搬処理工にて計上
			殻処分	アスファルト	m ³	－	運搬処理工にて計上
					t	－	運搬処理工にて計上
	舗装工	橋面防水工	橋面防水	塗膜系アスファルト加熱型防水層	m ²	16.7	
			ドレーン材	スプリング管 φ18	m	4.2	
				材料ロス	m	0.2	ロス率：5%
				材料合計	m	4.4	
			目地工	成型目地材 b=30mm・t=5mm	m	8.1	

橋梁名： 1号橋

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単 位	数 量	備 考
	舗装工	橋面防水工		材料ロス	m	0.4	ロス率：5%
				材料合計	m	8.5	
			床版用水抜きパイプ	スラブドレーン 標-1	基	1	タイプ1
				スラブドレーン 標-2	基	1	タイプ2
			充填材	エポキシ樹脂系	kg	0.7	
				材料ロス含む	kg	0.9	ロス率：20%
			フレキシブルチューブ	φ20	m	0.3	
			鉄筋探査工	下向き 0.5m×0.5m程度	m ²	-	構造物取壊し工にて計上
			コンクリート削孔工	コンクリート穿孔機	孔	-	構造物取壊し工にて計上
				φ50×50mm以上200mm未満	m	-	
				コンクリート穿孔機	孔	-	構造物取壊し工にて計上
				φ100×50mm以上200mm未満	m	-	
			殻運搬	コンクリート構造物	m ³	-	運搬処理工にて計上
			殻処分	がれき類	m ³	-	運搬処理工にて計上
					t	-	運搬処理工にて計上
	舗装工	アスファルト舗装工	基層（車道・路肩部）（橋面部）	粗粒度As(20) t=4cm 瀝青材無し	m ²	14.5	平均幅員 4.5m
			表層（車道・路肩部）（橋面部）	密粒度改質Ⅱ型(13) t=4cm(平均) タックコート	m ²	14.5	平均幅員 4.5m
			基層（車道・路肩部）（接続道路部）	粗粒度As(20) t=4cm プライムコート	m ²	4.5	平均幅員 4.2m(左岸側)4.9m(右岸側)
			表層（車道・路肩部）（接続道路部）	密粒度改質Ⅱ型(13) t=4cm(平均) タックコート	m ²	4.5	平均幅員 4.2m(左岸側)4.9m(右岸側)
	構造物撤去工	構造物取壊し工	鉄筋探査工	下向き	m ²	0.5	
			コンクリート削孔工	コンクリート穿孔機	孔	2	
				50mm以上64mm未満 50mm以上200mm未満			
			コンクリート削孔工	コンクリート穿孔機	孔	2	
				100mm以上110mm未満 50mm以上200mm未満			
		運搬処理工	殻運搬	コンクリート構造物	m ³	0.1	
				運搬距離17km DID区間：無し			

橋梁名： 1 号橋

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単 位	数 量	備 考
	構造物撤去工	運搬処理工	舗装版破碎	舗装版破碎	m ³	1.5	
				運搬距離14.9km DID区間:有り			
			殻処分	がれき類（コンクリート殻）	m ³	0.1	
					t	0.3	
				がれき類（アスファルト殻）	m ³	1.5	
					t	3.6	

1.2 断面修復工（左官工法）

※断面修復深さは、はつり調査結果配力筋54mm+鉄筋径φ11mm+余裕幅10mmより80mmとする。
橋台（無筋構造物）は現地にて計測された最大値とする。

1.2.1 左官工法

（１） 延べ施工量

１） ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含む

$$\begin{aligned} v1 &= 0.111 & = 0.111 \text{ m}^3 \\ v2 &= 0.111 \times 0.18 & = 0.020 \text{ m}^3 \\ &\quad \text{ロス率18\%} & \hline \Sigma V &= 0.131 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

２） ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含まない

$$\begin{aligned} v1 &= 0.020 & = 0.020 \text{ m}^3 \\ v2 &= 0.020 \times 0.18 & = 0.004 \text{ m}^3 \\ &\quad \text{ロス率18\%} & \hline \Sigma V &= 0.024 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

1.2.2 鉄筋

（１） SD345 D16以上D25以下

$$W = \begin{matrix} 19 \\ D16 \end{matrix} = 19 \text{ kg}$$

1.2.3 殻処分（無筋コンクリート）

$$\begin{aligned} V &= 0.111 + 0.020 & = 0.131 \text{ m}^3 \\ W &= 0.131 \times 2.35 \text{ t/m}^3 & = 0.308 \text{ t} \end{aligned}$$

1.2.4 左官工法 数量表

[illegible]

1.3 伸縮部止水工（舗装版クラック抑制工）

1.3.1 クラック抑制シート（ガラス基材 b=50cm）

$$\begin{array}{llll} \text{車道部} & \text{右岸側} & \text{左岸側} & \\ L1 = & 4.900 & + & 4.177 & = & 9.077 \text{ m} \end{array}$$

$$\begin{array}{llll} \text{材料ロス} & & & \\ L3 = & 9.077 & \times & 0.11 & = & 0.998 \text{ m} \\ & & \text{ロス率11\%} & & \hline \Sigma L = & 10.075 \text{ m} \end{array}$$

1.3.2 クラック抑制シート張（クラック抑制シート）

$$L = 9.077 = 9.077 \text{ m}$$

1.4 舗装版切断工

1.4.1 舗装版切断 (アスファルト舗装 t=15cm以下)

(1) 車道部 (t(平均)=8cm(想定))

$$L = \begin{array}{c} \text{(右岸)} \\ 4.944 \end{array} + \begin{array}{c} \text{(左岸)} \\ 4.134 \end{array}$$

$$= 9.078 \text{ m}$$

1.5 舗装版破碎工

1.5.1 舗装版破碎 (アスファルト舗装 障害なし 舗装厚15cm以下)

(1) アスファルト舗装 (t(平均)=8cm(想定))

(左岸側)

$$A1 = 3.399 \times 5.030 \div 2 = 8.548 \text{ m}^2$$

(右岸側)

$$A2 = 4.177 \times 5.030 \div 2 = 10.505 \text{ m}^2$$
$$\Sigma A = 19.053 \text{ m}^2$$

1.5.2 殻運搬 (アスファルト殻)

(1) 舗装版破碎 機械積込

(厚さ)

$$V = 19.053 \times 0.080 = 1.524 \text{ m}^3$$

1.5.3 殻処分 (アスファルト殻)

$$V = 1.524 = 1.524 \text{ m}^3$$

$$W = 1.524 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 3.581 \text{ t}$$

1.6 橋面防水工

1.6.1 橋面防水

(1) 塗膜系アスファルト加熱型防水層

$$A = \frac{1}{2} \times 4.745 \times 3.867 + \frac{1}{2} \times 4.745 \times 3.189 = 16.740 \text{ m}^2$$

1.6.2 ドレーン材

(1) スプリング管 (φ18)

$$L1 = 4.160 = 4.160 \text{ m}$$

材料ロス

$$L2 = 4.160 \times 0.05 = 0.208 \text{ m}$$

ロス率5%

1.6.3 目地工

(1) 成型目地材 (b=30mm・t=5mm)

$$L1 = 3.800 + 4.250 = 8.050 \text{ m}$$

材料ロス

$$L2 = 8.050 \times 0.05 = 0.403 \text{ m}$$

ロス率5%

1.6.4 床版用水抜きパイプ

(1) スラブドレーン 標-1

$$N = 1 = 1 \text{ 基}$$

(2) スラブドレーン 標-2

$$N = 1 = 1 \text{ 基}$$

1.6.5 充填材 (エポキシ樹脂系)

(1) $\phi 50$

$$L1 = \left(\overset{\text{タイプ1}}{0.167} - 0.057 + \overset{\text{タイプ2}}{0.177} - 0.037 \right) = 0.250 \text{ m}$$

$$w1 = \frac{\pi}{4} \times (0.050^2 - 0.0427^2) \times 0.250 \times 1150 \text{ kg/m}^3 = 0.153 \text{ kg}$$

$$L2 = \overset{\text{タイプ1}}{0.057} + \overset{\text{タイプ2}}{0.037} = 0.094 \text{ m}$$

$$w2 = \frac{\pi}{4} \times (0.050^2 - 0.034^2) \times (0.057 + 0.037) \times 1150 \text{ kg/m}^3 = 0.114 \text{ kg}$$

(2) $\phi 100$

$$L3 = 0.030 \times 2 \text{ (箇所)} = 0.060 \text{ m}$$

$$w3 = \frac{\pi}{4} \times (0.100^2 - 0.0427^2) \times 0.060 \times 1150 \text{ kg/m}^3 = 0.443 \text{ kg}$$

$$\Sigma W = 0.710 \text{ kg}$$

$$W = 0.710 \times \left(1 + \underset{\text{ロス率20\%}}{0.20} \right) = 0.852 \text{ kg}$$

1.6.6 フレキシブルチューブ ($\phi 20$)

$$L = 0.150 \times 2 = 0.300 \text{ m}$$

1.6.7 鉄筋探査工 (下向き)

$$A = 0.500 \times 0.500 \times 2 \text{ (箇所)} = 0.500 \text{ m}^2$$

1.6.8 コンクリート削孔工

(1) コンクリート穿孔機 削孔径：50mm以上64mm未満 削孔長：50mm以上200mm未満

1) $\phi 50$

$$N = \begin{array}{c} \text{タイプ1} \\ 1 \end{array} + \begin{array}{c} \text{タイプ2} \\ 1 \end{array} = 2 \text{ 孔}$$

$$L1 = \begin{array}{c} \text{タイプ1} \\ 0.167 \end{array} \times 1 = 0.167 \text{ m}$$

$$L2 = \begin{array}{c} \text{タイプ2} \\ 0.177 \end{array} \times 1 = 0.177 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 0.344 \text{ m}$$

(1) コンクリート穿孔機 削孔径：100mm以上110mm未満 削孔長：50mm以上200mm未満

1) $\phi 100$

$$N = \begin{array}{c} \text{タイプ1} \\ 1 \end{array} + \begin{array}{c} \text{タイプ2} \\ 1 \end{array} = 2 \text{ 孔}$$

$$L = 0.050 \times 2 \text{ (箇所)} = 0.100 \text{ m}$$

1.6.9 殻運搬

(1) コンクリート構造物

$$v1 = \pi/4 \times 0.050^2 \times \left(\begin{array}{c} \text{タイプ1} \\ 0.167 \end{array} + \begin{array}{c} \text{タイプ2} \\ 0.177 \end{array} \right) = 0.001 \text{ m}^3$$

$$v2 = \pi/4 \times 0.100^2 \times 0.050 \times 2 \text{ (箇所)} = 0.001 \text{ m}^3$$

$$\Sigma V = 0.002 \text{ m}^3$$

1.6.10 殻処分 (無筋コンクリート)

$$V = 0.002 = 0.002 \text{ m}^3$$

$$W = 0.002 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.005 \text{ t}$$

1.7 アスファルト舗装工

1.7.1 基層（車道・路肩部）（粗粒度As (20) t=4cm 瀝青材無し） （橋面部）

左岸側

$$A1 = 2.923 \times 4.517 \div 2 = 6.602 \text{ m}^2$$

右岸側

$$A2 = 3.504 \times 4.517 \div 2 = 7.914 \text{ m}^2$$
$$\Sigma A = 14.516 \text{ m}^3$$

1.7.2 表層（車道・路肩部）（密粒度改質Ⅰ型(13) t=4cm(平均) タックコート） （橋面部）

左岸側

$$A1 = 2.923 \times 4.517 \div 2 = 6.602 \text{ m}^2$$

右岸側

$$A2 = 3.504 \times 4.517 \div 2 = 7.914 \text{ m}^2$$
$$\Sigma A = 14.516 \text{ m}^3$$

1.7.3 基層（車道・路肩部）（粗粒度As (20) t=4cm プライムコート） （接続道路部）

左岸側

$$A1 = (4.134 + 4.220) \times 0.500 \div 2 = 2.089 \text{ m}^2$$

右岸側

$$A2 = (4.944 + 4.856) \times 0.500 \div 2 = 2.450 \text{ m}^2$$
$$\Sigma A = 4.539 \text{ m}^3$$

1.7.4 表層（車道・路肩部）（密粒度改質Ⅱ型(13) t=4cm(平均) タックコート） （接続道路部）

左岸側

$$A1 = (4.134 + 4.220) \times 0.500 \div 2 = 2.089 \text{ m}^2$$

右岸側

$$A2 = (4.944 + 4.856) \times 0.500 \div 2 = 2.450 \text{ m}^2$$
$$\Sigma A = 4.539 \text{ m}^3$$

1.8 構造物取壊し工

1.8.1 鉄筋探索工

(1) 下向き

1) 橋面防水工

$$A = 0.500 \times 0.500 \times 2 \text{ (箇所)} = 0.500 \text{ m}^2$$

1.8.2 コンクリート削孔工

(1) コンクリート穿孔機 削孔径：50mm以上64mm未満 削孔長：50mm以上200mm未満

1) 橋面防水工

$$N = 2 \qquad \frac{=}{\Sigma N =} \frac{2 \text{ 孔}}{2 \text{ 孔}}$$

(2) コンクリート穿孔機 削孔径：100mm以上110mm未満 削孔長：50mm以上200mm未満

1) 橋面防水工

$$N = 2 \qquad \frac{=}{\Sigma N =} \frac{2 \text{ 孔}}{2 \text{ 孔}}$$

1.9 運搬処理工

1.9.1 殻運搬

(1) コンクリート構造物

1) 断面修復工 (左官工法)

$$V = 0.131 \quad = 0.131 \text{ m}^3$$

2) 橋面防水工

$$V = 0.002 \quad = 0.002 \text{ m}^3$$
$$\Sigma V = 0.133 \text{ m}^3$$

(2) アスファルト殻

1) 殻運搬 (舗装版破碎)

$$V = 1.524 \quad = 1.524 \text{ m}^3$$

1.9.2 殻処分

(1) コンクリート殻

$$V = 0.133 \quad = 0.133 \text{ m}^3$$

$$W = 0.133 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.313 \text{ t}$$

(2) アスファルト殻

$$V = 1.524 \quad = 1.524 \text{ m}^3$$

$$W = 1.524 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 3.581 \text{ t}$$

1.1 補修数量総括表

橋梁名： 2号橋（二本木下郷線）

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベ ル 格	単 位	数 量	備 考
橋梁保全工事	構造物補修工	ひびわれ補修工 低圧注入工法	ひびわれ注入工 延べ施工量	エポキシ樹脂系1種	m	2.3	
				エポキシ樹脂系3種	m	2.3	
				ひびわれ注入工 1橋当り延べ延長	m	4.6	
			シール材	エポキシ樹脂系	kg	1.5	ロス率37%
			ひびわれ注入材	エポキシ樹脂系1種	kg	0.2	ロス率40%を含む
				エポキシ樹脂系3種	kg	0.1	ロス率40%を含む
			注入器	低圧注入器	個	19	設置間隔：250mm間隔
		断面修復工 左官工法	左官工法 延べ施工量	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含む	m ³	0.152	
				材料ロス	m ³	0.027	ロス率：18%
				左官工法 1橋当り延べ体積	m ³	0.179	
			殻運搬	コンクリート構造物 機械積込 運搬距離7km DID区間：無し	m ³	-	運搬処理工にて計上
			殻処分	がれき類	m ³	-	運搬処理工にて計上
					t	-	運搬処理工にて計上
	橋梁付属物工	目地処理工	目地処理工	高機能止水材（W=10mm）プライマー材込み	m	1.7	
				シール材（シリコン系、ロス率1.1）	ℓ	0.3	
			舗装版切断工	車道部 （標準表層切断厚 t =50mm）	m ²	-	舗装版切断工にて計上
			舗装打換え工	再生改質Ⅱ型アスファルト	m ²	-	舗装打換え工にて計上
	道路維持修繕工	舗装版切断工	車道部	舗装厚8cmを想定している	m	5.87	
		道路打換え工	車道部	再生改質Ⅱ型アスファルト	m ²	1.40	
			殻運搬	舗装版破碎 機械積込 運搬距離16.2km DID区間：有り	m ³	-	運搬処理工にて計上
			殻処分	がれき類	m ³	-	運搬処理工にて計上
					t	-	運搬処理工にて計上
	構造物撤去工	運搬処理工	殻運搬	コンクリート構造物 機械積込 運搬距離7km DID区間：無し	m ³	0.15	

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単 位	数 量	備 考
	構造物撤去工	運搬処理工		舗装版破碎 機械積込	m³	0.11	
				運搬距離16.2km DID区間:有り			
			殻処分（がれき類）	コンクリート構造物	m³	0.15	
					t	0.36	
				舗装版破碎物	m³	0.11	
				t	0.26		

レベル1 工事区分	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単 位	数 量	備 考
	構造物撤去工	運搬処理工		舗装版破碎 機械積込	m ³	0.11	
				運搬距離16.2km DID区間:有り			
			殻処分（がれき類）	コンクリート構造物	m ³	0.15	
					t	0.36	
				舗装版破碎物	m ³	0.11	
					t	0.26	

1.2 ひびわれ補修工

1.2.1 低圧注入工法（ひびわれ注入工）

（１） 延べ施工量

１） エポキシ樹脂注入材１種（対象：橋台）

・ $0.2 \leq w < 0.5 \text{ mm}$

$$L1 = 1.13 = 1.13 \text{ m}$$

・ $0.5 \leq w < 1.0 \text{ mm}$

$$L2 = 1.21 = 1.21 \text{ m}$$

$$\Sigma L = 2.34 \text{ m}$$

２） エポキシ樹脂注入材３種（対象：床版）

・ $0.2 \leq w < 0.5 \text{ mm}$

$$L1 = 2.25 = 2.25 \text{ m}$$

$$\text{ひびわれ注入工 1橋当り延べ延長} \quad \Sigma L = 4.59 \text{ m}$$

（２） シール材

１） エポキシ樹脂系（対象：エポキシ樹脂注入材１種、３種）

$$w = 50 \text{ mm} \quad (\text{仮定})$$

$$t = 3 \text{ mm} \quad (\text{仮定})$$

$$\gamma = 1.60 \quad (\text{低圧注入ひび割れ補修工用 シール材の比重})$$

$$W = 4.59 \times 0.050 \times 0.003 \times 1600 \times 1.37 = 1.51 \text{ kg}$$

ロス率37%

（３） 注入材

１） エポキシ樹脂注入材１種（対象：橋台）

・ $0.2 \leq w < 0.5 \text{ mm}$

$$w = 0.30 \text{ mm} \quad (\text{ひび割れ幅})$$

$$t = 60 \text{ mm} \quad (\text{ひび割れ幅の200倍と仮定})$$

$$\gamma = 1.15 \quad (\text{土木補修用エポキシ樹脂注入材１種の比重})$$

$$W = 1.13 \times 0.00030 \times 0.060 \times 1150 \times 1.40 = 0.03 \text{ kg}$$

ロス率40%

・ $0.5 \leq w < 1.0 \text{ mm}$

$$\begin{aligned} w &= 0.60 \text{ mm} && (\text{ひび割れ幅}) \\ t &= 120 \text{ mm} && (\text{ひび割れ幅の200倍と仮定}) \\ \gamma &= 1.15 && (\text{土木補修用エポキシ樹脂注入材1種の比重}) \end{aligned}$$

$$W = 1.21 \times 0.00060 \times 0.120 \times 1150 \times 1.40 = 0.14 \text{ kg}$$

ロス率40%

$$\Sigma W = 0.17 \text{ kg}$$

2) エポキシ樹脂注入材3種（対象：床版）

・ $0.2 \leq w < 0.5 \text{ mm}$

$$\begin{aligned} w &= 0.30 \text{ mm} && (\text{ひび割れ平均幅}) \\ t &= 60 \text{ mm} && (\text{ひび割れ幅の200倍と仮定}) \\ \gamma &= 1.15 && (\text{土木補修用エポキシ樹脂注入材3種の比重}) \end{aligned}$$

$$W = 2.25 \times 0.00030 \times 0.060 \times 1150 \times 1.40 = 0.07 \text{ kg}$$

ロス率40%

(4) 注入器（低圧注入器）

・ 設置間隔：250mm間隔

$$N = 4.59 / 0.25 = 19 \text{ 個}$$

1.2.2 ひびわれ延長数量計算書

[illegible]

1.3 断面修復工（左官工法）

- ・床版、地覆については鉄筋構造物のため、はつり深さははつり深さ計算により算出する。

はつり深さ計算方法（上部工）： かぶり厚 + 鉄筋径 + 余裕長10mm
 $0.050 + 0.010 + 0.013 + 0.010 = 0.083 \div 0.085 \text{ m}$
 (5mm丸め)

1.3.1 左官工法 (亜硝酸リチウム混和用ポリマーセメント系 鉄筋ケレン・防錆処理を含む)

(1) 延べ施工量

$$v1 = 0.152 = 0.152 \text{ m}^3$$

$$v_2 = \frac{0.152 \times 0.18}{\text{ロス率}18\%} = \frac{0.027 \text{ m}^3}{\Sigma V = 0.179 \text{ m}^3}$$

1.3.2 殼運搬

(1) コンクリート構造物 機械積込

$$V = 0.152 = 0.152 \text{ m}^3$$

※ 殻数量は、断面修復数量と同量と仮定した。

1.3.3 殻処分 (がれき類)

$$V = 0.152 \quad = 0.152 \text{ m}^3$$

$$W = 0.152 \times 2.35t = 0.357 t$$

1.3.4 左官工法 数量計算書

番号	部 位	形 状 ・ 寸 法 (m × m)	補修面積 (m ²)	補修深さ (m)	塗布面積 (m ²)	補修体積 (m ³)	備 考
D	床版下面						
1		a=0.875m ²	0.875	0.085	1.024	0.074	図面から計測
2		a=0.641m ²	0.641	0.085	0.750	0.054	図面から計測
3		0.40 × 0.10	0.040	0.085	0.125	0.003	
	小計		1.556		1.899	0.131	ケレン・防錆：有
D	床版側面（上流側）						
4		0.05 × 0.05	0.003	0.085	0.020	0.001	
5		0.05 × 0.05	0.003	0.085	0.020	0.001	
6		0.05 × 0.05	0.003	0.085	0.020	0.001	
7		0.05 × 0.05	0.003	0.085	0.020	0.001	
8		0.50 × 0.15	0.075	0.085	0.186	0.006	
	小計		0.087		0.266	0.010	ケレン・防錆：有
D	床版側面（下流側）						
9		0.90 × 0.15	0.135	0.085	0.314	0.011	
	小計		0.135		0.314	0.011	ケレン・防錆：有
鉄筋ケレン・防錆処理を含む合計			1.778		2.479	0.152	
鉄筋ケレン・防錆処理を含まない合計							
	合 計		1.778		2.479	0.152	

1.4 目地処理工（高機能止水材 メジエイド同等品）

1.4.1 高機能止水材 （W=10mm）プライマー材込み

$$L = 1.70 = 1.70 \text{ m}$$

1.4.2 シール材 （シリコン系、ロス率1.1）

$$W = 0.01 \times 0.015 \times 1.70 \times 10^3 \times 1.1 = 0.3 \text{ ㍑}$$

1.4.3 舗装版切断工

舗装厚は床版面上8cmと想定する。（道路舗装に関する設計基準による）

（1）車道部

$$L = 5.872 = 5.872 \text{ m}$$

1.4.4 道路打換え工

（1）舗装打換え （再生改質Ⅱ型アスファルト）

$$A = 1.40 = 1.40 \text{ m}^2$$

1.5 舗装版切断工

1.5.1 舗装版切断 (アスファルト舗装版厚15cm以下)

舗装厚は床版面上8cmと想定する。(道路舗装に関する設計基準による)

(1) 車道部

$$L = 0.60 \times 2 + 2.336 \times 2 = 5.872 \text{ m}$$

1.6 道路打換え工

1.6.1 道路打換え (再生改質Ⅱ型アスファルト)

舗装厚は床版面上8cmと想定する。(道路舗装に関する設計基準による)

(1) 車道・路肩部

$$A = \frac{1.40}{(\text{目地処理工より})} = 1.40 \text{ m}^2$$

1.6.2 殻運搬

(1) 舗装版破碎 機械積込

$$V = 1.40 \times 0.08 = 0.112 \text{ m}^3$$

(2) 殻処分 (がれき類)

$$V = 0.112 = 0.112 \text{ m}^3$$

$$W = 0.112 \times 2.35 \text{ t} = 0.263 \text{ t}$$

1.7 運搬処理工

1.7.1 殻運搬

(1) コンクリート構造物 機械積込

1) 断面修復工 (左官工法)

$$V = 0.152 = 0.152 \text{ m}^3$$

(2) 舗装版破碎 機械積込

$$V = 0.112 = 0.112 \text{ m}^3$$

1.7.2 殻処分 (がれき類)

(1) コンクリート構造物

$$V = 0.152 = 0.152 \text{ m}^3$$

$$W = 0.152 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.357 \text{ t}$$

(2) 舗装版破碎

$$V = 0.112 = 0.112 \text{ m}^3$$

$$W = 0.112 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.263 \text{ t}$$